取扱説明書

FORIS®
FX2301TV

地上デジタルチューナー搭載
カラー液晶モニター

重要

ご使用前には必ず本取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。この取扱説明書は大切に保管してください。

ユーザー登録のお願い

このたびは、当社製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
お買い上げいただきましたお客様へより充実したサポートをお届けするため、ユーザー登録をお願いいたします。

登録方法：当社ホームページからオンライン登録
下記アドレスにアクセスし、ご登録ください。

ホームページアドレス
http://www.eizo.co.jp/registration/



絵表示について

本書では以下の絵表示を使用しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



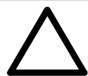
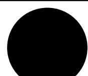
警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性がある内容、および物的損害のみ発生する可能性がある内容を示しています。

	注意（警告を含む）を促すものです。たとえば は「感電注意」を示しています。
	禁止の行為を示すものです。たとえば は「分解禁止」を示しています。
	行為を強制したり指示するものです。たとえば は「アース線を接続すること」を示しています。

営利目的、または公衆に視聴されることを目的として、画面の大きさを変える（例えば、入力された映像の縦横比を変える）などの特殊機能を使用すると、著作権法で保護される著作権を侵害する恐れがあります。

本装置は、高調波電流を抑制する日本工業規格 JIS C 61000-3-2 に適合しております。

Apple、Macintosh は Apple Inc. の登録商標です。
HDMI、HDMI ロゴ、High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing, LLC の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
Windows、Windows Vista、Xbox 360 は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
VESA は Video Electronics Standards Association の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
プレイステーション･ポータブルは株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの商品です。
プレイステーションは同社の登録商標です。
本製品はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー、Pro Logic およびダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。



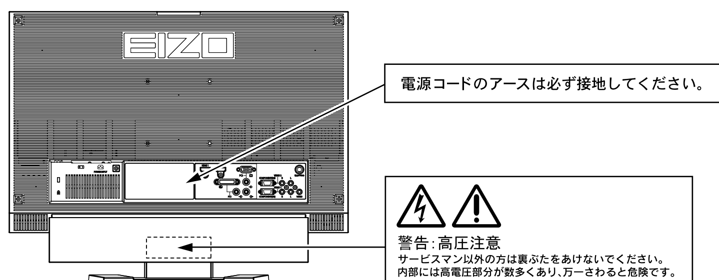
PC-9821 は日本電気株式会社の商標です。
本製品上で表示される文字には、株式会社リコーが制作したビットマップフォント丸ゴシックボールドを使用しています。
EIZO ScreenSlicer は株式会社ナナオの商標です。
EIZO、EIZO ロゴ、FORIS は株式会社ナナオの日本およびその他の国における登録商標です。
その他の各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

⚠使用上の注意

重要

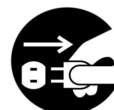
- ご使用前には、「使用上の注意」および本体の「警告表示」をよく読み、必ずお守りください。

【警告表示位置】

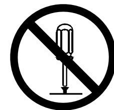


⚠警告

万一、異常現象（煙、異音、においなど）が発生した場合は、すぐに電源を切り、電源プラグを抜いて販売店またはエイゾーサポートに連絡する
そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。



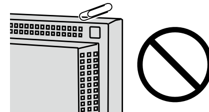
裏ぶたを開けない、製品を改造しない
本製品内部には、高電圧や高温になる部分があり、感電、やけどの原因となります。
また、改造は火災、感電の原因となります。



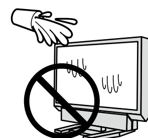
修理は販売店またはエイゾーサポートに依頼する
お客様による修理は火災や感電、故障の原因となりますので、絶対におやめください。



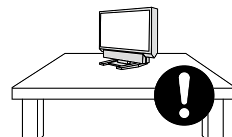
異物を入れない、液体の入ったもの（花瓶など）や濡れたものを置かない
本製品内部に金属、燃えやすい物や液体が入ると、火災や感電、故障の原因となります。



万一、本製品内部に液体をこぼしたり、異物を落とした場合には、すぐに電源プラグを抜き、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。



丈夫で安定した場所に置く
不安定な場所に置くと、落下することがあり、けがの原因となります。
万一、落とした場合は電源プラグを抜いて、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。



⚠ 警告

次のような場所で使用しない

火災や感電、故障の原因となります。

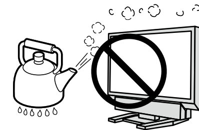
・屋外。車両･船舶などへの搭載。

・湿気やほこりの多い場所。

・水滴のかかる場所。浴室、水場など。

・油煙や湯気が直接当たる場所や熱器具、加湿器の近く。

・可燃性ガスのある環境。



プラスチック袋は子供の手の届かない場所に保管する

包装用のプラスチック袋をかぶったりすると窒息の原因となります。



付属の電源コードを 100VAC 電源に接続して使用する

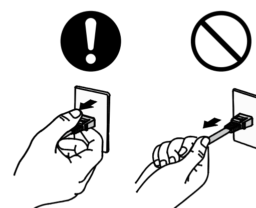
付属の電源コードは日本国内 100VAC 専用品です。

誤った接続をすると火災や感電の原因となります。



電源コードを抜くときは、プラグ部分を持つ

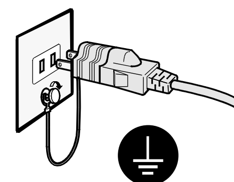
コード部分を引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となります。



電源コンセントが二芯の場合、付属の二芯アダプタを使用し、安全（感電防止）および電磁界輻射低減のため、アースリード（緑）を必ず接地する

なお、アースリードは電源プラグをつなぐ前に接続し、電源プラグを抜いてから外してください。順序を守らないと感電の原因となります。

二芯アダプタのアースリード、および三芯プラグのアースが、コンセントの他の電極に接触しないようにしてください。

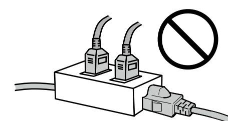


次のような誤った電源接続をしない

誤った接続は火災、感電、故障の原因となります。

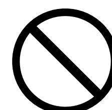
・取扱説明書で指定された電源電圧以外への接続。

・タコ足配線。



電源コードを傷つけない

電源コードに重いものをのせる、引っ張る、束ねて結ぶなどをしないでください。電源コードが破損（芯線の露出、断線など）し、火災や感電の原因となります。



⚠ 警告

アンテナ工事は販売店またはエイゾーサポートに相談する
アンテナ工事には、技術と経験が必要です。送配電線の近くに設置すると、アンテナが倒れた場合、感電の原因となります。



雷が鳴り出したら、本機や電源プラグ / コード、アンテナ線、電話機コードには触れない
感電の原因となります。



アーム（または他のスタンド）を使用する場合は、それらの取扱説明書の指示にしたがい、確実に設置する
確実に設置されていないと、外れたり、倒れたりしてけがや故障の原因となります。万一、落とした場合は電源プラグを抜いて、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。また、取り外したスタンドを再度取り付ける場合には必ず元のネジを使用し、確実に固定してください。



リモコン用乾電池の取り扱いに注意する
誤った使用は破裂や液漏れの原因となります。
・分解や加熱をしたり、濡らしたりしない。
・乾電池の取りつけ、交換は正しくおこなう。
・2 本以上使用する製品での交換は、同じ種類・銘柄の新しい電池を使う。
・プラス（＋）とマイナス（－）の向きを正しく入れる。
・被覆にキズの入った乾電池は使用しない。
・廃棄時は地域指定の「乾電池回収箱」などへ入れる。



液晶パネルが破損した場合、破損部分に直接素手で触れない
もし触れてしまった場合には、手をよく洗ってください。
万一、漏れ出た液晶が、誤って口や目に入った場合には、すぐに口や目をよく洗い、医師の診断を受けてください。そのまま放置した場合、中毒を起こす恐れがあります。



ごみ廃棄場で処分されるごみの中に本製品を捨てない
蛍光管バックライトには水銀が含まれているため（LED バックライトを使用した製品は水銀を含有していません）、廃棄は地方自治体の規則に従ってください。

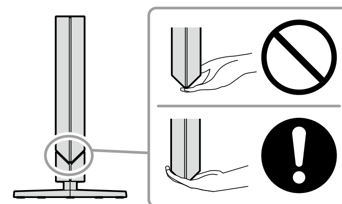


⚠ 注意

運搬のときは、接続コードを外す
コードを引っ掛け、けがの原因となります。

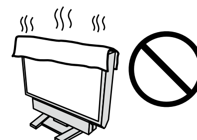


本製品を移動させるときは、右図のように画面の下部を両手で持つ
落としたりするとけがや故障の原因となります。

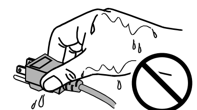


通風孔をふさがない
通風孔をふさぐと、内部が高温になり、火災や感電、故障の原因となります。

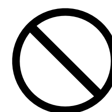
- 通風孔をカーテンなどでふさがない。
- 通風孔の上や周囲にものを置かない。
- 風通しの悪い、狭いところに置かない。
- 周囲の壁から 10cm 以上の間隔をあけて設置する。
- 横倒しや、逆さにして設置しない。



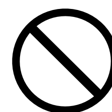
濡れた手で電源プラグに触れない
感電の原因となります。



ヘッドホンを使用するときは音量を上げすぎない
聴力に悪い影響を与える原因となります。



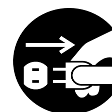
電源プラグの周囲にものを置かない / 製品は電源コンセントの近くに設置する
火災や感電防止のため、異常が起きた時すぐ電源プラグを抜けるようにしておいてください。



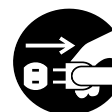
電源プラグ周辺は定期的に掃除する
ほこり、水、油などが付着すると火災の原因となります。



クリーニングの際は電源プラグを抜く
プラグを差したままでおこなうと、感電の原因となります。



長時間使用しない場合には、安全および省エネルギーのため、本体の電源を切った後、電源プラグも抜く



モニターについて

本製品は、文書作成やマルチメディアコンテンツの閲覧、TV 視聴など一般的な用途に適しています。

本製品は、日本国内専用品です。日本国外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。
This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

本書に記載されている用途以外での使用は、保証外となる場合があります。

本書に定められている仕様は、付属の電源コードおよび当社が指定する信号ケーブル使用時にのみ適用いたします。

本製品には、当社オプション品または当社が指定する製品をお使いください。

製品内部の電気部品の動作が安定するのに、30 分程度かかりますので、モニターの調整は電源を入れて 30 分以上経過してからおこなってください。

経年使用による輝度変化を抑え、安定した輝度を保つためには、ブライトネスを下げて使用されることをおすすめします。

同じ画像を長時間表示することによって、表示を変えたときに前の画像が残像として見えることがあります。長時間同じ画像を表示する場合は、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してください。

本製品を美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングをおこなうことをおすすめします。（次ページ「クリーニングのしかた」参照）

液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯する画素が見える場合がありますので、あらかじめご了承ください。また、有効ドット数の割合は 99.9994% 以上です。

液晶パネルに使用されるバックライトには寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたり、点灯しなくなったときには、販売店またはエイゾーサポートにお問い合わせください。

液晶パネル面やパネルの外枠は強く押さないでください。強く押すと、干渉縞が発生するなど表示異常を起こすことがありますので取り扱いにご注意ください。また、液晶パネル面に圧力を加えたままにしておきますと、液晶の劣化や、パネルの破損などにつながる恐れがあります（液晶パネルを押したあとが残った場合、画面全体に白い画像または黒い画像を表示すると解消されることがあります。）。

液晶パネルを固いものや先の尖ったもの（ペン先、ピンセット）などで押したり、こすったりしないようにしてください。傷がつく恐れがあります。なお、ティッシュペーパーなどで強くこすっても傷が入りますのでご注意ください。

本製品を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、製品の表面や内部に露が生じることがあります（結露）。結露が生じた場合は、結露がなくなるまで製品の電源を入れずにお待ちください。そのまま使用すると故障の原因となることがあります。

クリーニングのしかた

注意点

- 溶剤や薬品（シンナーやベンジン、ワックス、アルコール、その他研磨クリーナなど）は、キャビネットや液晶パネル面をいためるため絶対に使用しないでください。

参考

- 液晶パネル面のクリーニングには ScreenCleaner（オプション品）をご利用いただくことをおすすめします。

液晶パネル面

- 汚れのふき取りにはコットンなどの柔らかい布や、レンズクリーナー紙のようなものをご使用ください。
- 落ちにくい汚れは、少量の水をしめらせた布でやさしくふき取ってください。ふき取り後、もう一度乾いた布でふいていただくと、よりきれいな仕上がりとなります。

キャビネット

柔らかい布を中性洗剤でわずかにしめらせ、汚れをふき取ってください。

モニターを快適にご使用いただくために

- アンテナは風雨にさらされるため、定期的に点検、交換することをおすすめします。特に、ばい煙の多いところや潮風にさらされるところでは、アンテナが傷みやすくなります。映りが悪くなった場合は、販売店にご相談ください。
- 本機の近くで電磁波を発生するような機器（携帯電話など）を使用しないでください。機器相互間での干渉により、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。
- 画面が暗すぎたり、明るすぎたりすると目に悪影響をおよぼすことがあります。状況に応じてモニター画面の明るさを調整してください。
- 長時間モニター画面を見続けると目が疲れますので、1 時間に 10 分程度の休憩を取ってください。

もくじ

表紙 1

⚠使用上の注意 3

モニターについて 7

もくじ 9

第 1 章　特長と概要 11

1 - 1　特長 11

1 - 2　梱包品の確認 13

1 - 3　各部の名称と機能 14

●機能一覧 16

1 - 4　機能一覧とメニュー基本操作方法 16

●基本操作方法 17
●機能一覧 18
●基本操作方法 18

第 2 章　準備する 19

2 - 1　準備の流れ 19

2 - 2　スタンドベースを取り付ける 20

2 - 3　リモコンを準備する 20

●乾電池を入れる 20
●受信範囲 20

2 - 4　接続する 21

2 - 5　角度を調節する 27

2 - 6　地上デジタル放送の受信設定をおこなう 28

●チャンネルを追加設定する［チャンネル追加設定］ 29
●チャンネルボタンの登録を手動で変更する［リモコン設定］ 29
●チャンネルスキップを登録する［チャンネルスキップ］ 30

第 3 章　操作する 31

3 - 1　入力を切り換える 31

3 - 2　音量を調節する 31

●音量を調節する 31
●音を消す 31

3 - 3　外部機器を操作する（HDMI CEC 機能） 32

●HDMI CEC 機能について 32
●HDMI CEC 設定をおこなう 33
●再生操作 / メニュー操作のしかた 33

3 - 4　テレビを見る 35

●チャンネルを選ぶ 35
●番組表を見る［番組表］ 35
●番組の詳細な情報を見る［番組情報］ 36
●字幕・文字スーパーの表示を設定する［字幕・文字スーパー］ 36
●音声を切り換える［音声切換］ 36

第 4 章　調整と設定をする 37

4 - 1　カラー調整をする 37

カラーモードを選ぶ［カラーモード］ 37

●イルミネーション色を切り換える［イルミネーション］ 38

詳細な調整をする 38

●ブライトネス（明るさ）を調整する［ブライトネス］ 38
●黒レベルを調整する［黒レベル］ 38
●コントラストを調整する［コントラスト］ 39
●色の濃さを調整する［色の濃さ］ 39
●色合いを調整する［色合い］ 39
●色温度を調整する［色温度］ 39
●自動明るさ調整の設定を切り換える［Auto EcoView］ 40
●自動コントラスト調整の有効 / 無効を切り換える［コントラスト拡張］ 40
●映像の輪郭を補正する［輪郭補正］ 40
●ガンマを調整する［ガンマ］ 40
●視聴角度を切り換える［リラックスモード］ 41
●赤･緑･青（RGB）のバランスを微調整する［RGB バランス］ 41
●ゲインを調整する［ゲイン］ 41
●映像のノイズを軽減する［ノイズフィルタ］ 41
●I/P 変換の処理方法を設定する［I/P 変換］ 42
●倍速モードの設定をおこなう 42

もくじ

4 - 2　画面の調整をする 44
PC1 入力の場合（デジタル信号入力時） 44
PC2 入力の場合（アナログ信号入力時） 44
VIDEO 入力の場合 47
●ちらつきやにじみをとる［フェーズ］ 47
●表示位置のずれを直す［ポジション］ 47
HDMI（PC 信号）入力の場合 48
●HDMI 入力に接続した機器を設定する
［接続機器］ 48
HDMI（ビデオ信号）入力の場合 48
●HDMI 入力に接続した機器を設定する
［接続機器］ 48
●表示位置のずれを直す［ポジション］ 48

4 - 3　音声を調整する 49
●音声の出力先を選択する［出力選択］ 49
●左右の音量バランスを調整する［バランス］ .. 49
●高音 / 低音を調整する［高音］/［低音］ 49
●バーチャル 5.1ch サラウンドの設定を切り換える
［Virtual 5.1ch Surround］ 50
●音声のレベルを調整する［音声レベル］ 50
●HDMI 入力の音源を設定する［音源］ 51

4 - 4　省電力の設定をおこなう 51
●無操作時の自動電源オフの有効 / 無効を切り換える［無操作電源オフ］ 51
●無信号時の自動電源オフの有効 / 無効を切り換える［無信号電源オフ］ 51
●モニターの省電力モードの有効 / 無効を切り換える［パワーセーブ（PC）］ 52

4 - 5　モニターの電源を自動的に切る 52

4 - 6　画面サイズを切り換える 53
PC/HDMI（PC 信号）入力時 53
VIDEO/HDMI（ビデオ信号）入力時 54
●自動切換の有効 / 無効を切り換える
［画面サイズ自動切換］ 54
●手動で切り換える 54
テレビ放送時 56

4 - 7　スルーモードのオン / オフを切り換える
［スルーモード］ 57

4 - 8　ソフトウェアのダウンロード 57

4 - 9　地上デジタル放送に関する情報を表示する ..57
●ソフトウェアのバージョンを表示する
［バージョン情報］ 57
●放送メールを表示する［放送メール］ 57

4 - 10　モニター情報を表示する
［インフォメーション］ 58

4 - 11　本体操作ボタンをロックする
［操作ロック］ 58

4 - 12　EIZO ロゴの表示 / 非表示を切り換える
［起動ロゴ］ 58

4 - 13　お買い上げ時の状態に戻す 59
●カラー調整値をリセットする
［カラーリセット］ 59
●すべての設定内容をリセットする（地デジ設定メニューの設定を除く）［リセット］ 59
●地デジ設定メニューの設定をリセットする
［全設定消去］ 59

第 5 章　こんなときは 60

5 - 1　こんなときは 60
5 - 2　メッセージ一覧 65

第 6 章　ご参考に 66

6 - 1　オプションアーム取付方法 66
6 - 2　地上デジタル放送の放送一覧 67
6 - 3　仕様 69
6 - 4　用語集 74
6 - 5　プリセットタイミング 76

第 7 章　アフターサービス 78

第 1 章　特長と概要

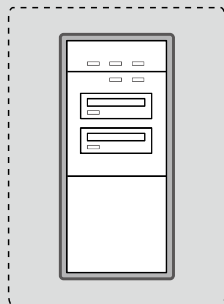
このたびは当社カラー液晶モニターをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

1‐1　特長

・23 型ワイド画面　解像度 1920 × 1080 対応
・豊富な入出力端子を搭載
DVI-D コネクタ× 1、D-Sub15 ピン（ミニ）コネクタ× 1
HDMI 端子× 2、コンポーネント（D 端子（D5：1080p 対応））× 2、コンポジット（ピンジャック）× 1
・HDMI 入力で PC 信号に対応（PC 入力と合わせると、コンピュータの 4 系統入力が可能になります。）
・HDMI 入力およびコンポーネントビデオ入力で、1080p@24Hz（48Hz 表示）に対応
・コンポジットビデオ入力で NTSC に加え、PAL 信号に対応
アンテナ入力端子（地上デジタル× 1）
・ステレオスピーカー内蔵
・Virtual 5.1ch Surround 機能搭載（ヘッドホン使用時に有効）
迫力と臨場感のある音声を楽しむことができます。また、サラウンド効果は用途に応じて選択することができます。
● バーチャル 5.1ch サラウンドの設定を切り換える［Virtual 5.1ch Surround］（P.50）参照
・倍速表示機能を搭載
表示コマ数を 2 倍に変換することで残像感を低減し、くっきりした映像を再現します。また、コマ数を変換するときの補間方法を用途に応じて選択することができます。
● 倍速モードの設定をおこなう（P.42）参照
・ゲーム映像の表示に特化した機能を搭載
- カラーモード：ゲーム映像に最適な表示モードが選択できます。
カラーモードを選ぶ［カラーモード］（P.37）参照
- スルーモード：映像処理をスキップし、映像表示時の遅延を最小にすることができます。
4-7　スルーモードのオン / オフを切り換える［スルーモード］（P.57）参照
・イルミネーション機能を搭載
選択しているカラーモードによって、本体前面のイルミネーションの色が変わります。また、モードごとにイルミネーションの色を変更したり、イルミネーションの明るさを調整することもできます。
イルミネーション色を切り換える［イルミネーション］（P.38）参照
・リラックスモード機能を搭載
画面を正面以外の位置（上または下）から見るような場合に、視聴角度を調整し正面からの見えかたに近づけます。
● 視聴角度を切り換える［リラックスモード］（P.41）参照
・HDMI CEC（Consumer Electronics Control）機能搭載
本機は HDMI CEC に対応しています。HDMI CEC に対応した外部機器を接続すると、相互の制御が可能になり、本機のリモコンで外部機器を操作することができます。
3-3　外部機器を操作する（HDMI CEC 機能）（P.32）参照
・デジタルチューナーを搭載
地上デジタル放送が視聴ができます。
3-4　テレビを見る（P.35）参照
・省電力機能
消費電力を抑えることで、二酸化炭素排出量の削減につながります。
本機は省電力のためのさまざまな機能を搭載しています。
- 主電源オフ時消費電力 0W
主電源スイッチを装備。
モニターを使用しない時は、主電源スイッチを切ることで、確実に電源供給が停止します。
- Auto EcoView（オートエコビュー）機能
モニター正面のセンサーが検知した周囲の明るさと、表示映像の明るさに応じて、自動的に画面の明るさを調整します。不必要に高い輝度は、環境にも目にも負荷を与えます。輝度を抑えることにより、消費電力の削減と、目への負担を軽減します。
● 自動明るさ調整の設定を切り換える［Auto EcoView］（P.40）参照
・著作権保護技術 HDCP 対応

使用例

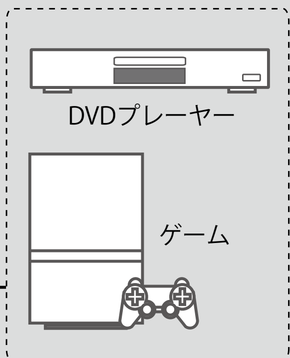
コンピュータ



DVI
D-Sub
HDMI

WindowsPC や Macintosh などを接続して、本機をコンピュータのモニターとして使うことができます。

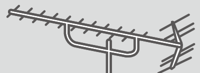
AV機器



コンポジット
コンポーネント（D端子）
HDMI

DVD やビデオ、ゲームなどを接続して、映像を表示できます。

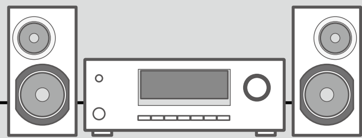
アンテナ



地上デジタル放送

アンテナを接続して、テレビ放送を視聴できます。

オーディオ機器



スピーカーや AV アンプなどを接続して、コンピュータや AV 機器からの音声を出力することができます。

参 考

• ヘッドホンをヘッドホン端子に接続して音声を聴くこともできます。

注意点

• 本機の HDMI 入力にはコンピュータからの PC 信号と AV 機器からのビデオ信号を入力することができます。PC 信号とビデオ信号では、設定 / 調整内容が異なりますので、必ず［接続機器］設定で接続機器を指定してください（P.48 参照）。

※ 本書では、HDMI 入力への入力信号を次のように区別しています。

入力信号	［接続機器］設定	表記
PC 信号	PC	HDMI（PC 信号）入力
ビデオ信号	DVD/ ビデオ	HDMI（ビデオ信号）入力

1 - 2　梱包品の確認

次のものがすべて入っているか確認してください。万一、不足しているものや破損しているものがある場合は、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。

参 考

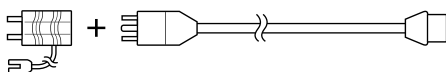
- 梱包箱や梱包材は、本機の移動や輸送用に保管していただくことをおすすめします。

□ モニター本体

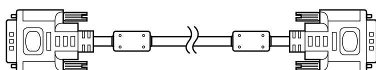
□ リモコン

□ 単3形乾電池 2本

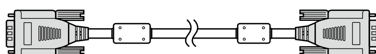
□ 電源コード（二芯アダプタ）



□ デジタル信号ケーブル（DVI）：FD-C39



□ アナログ信号ケーブル：MD-C87



□ アンテナケーブル



□ 取扱説明書（本書）

□ かんたんガイド

□ スタンドベース取付方法

□ 保証書（梱包箱に添付）

□ B-CASカード

□ B-CASカバー

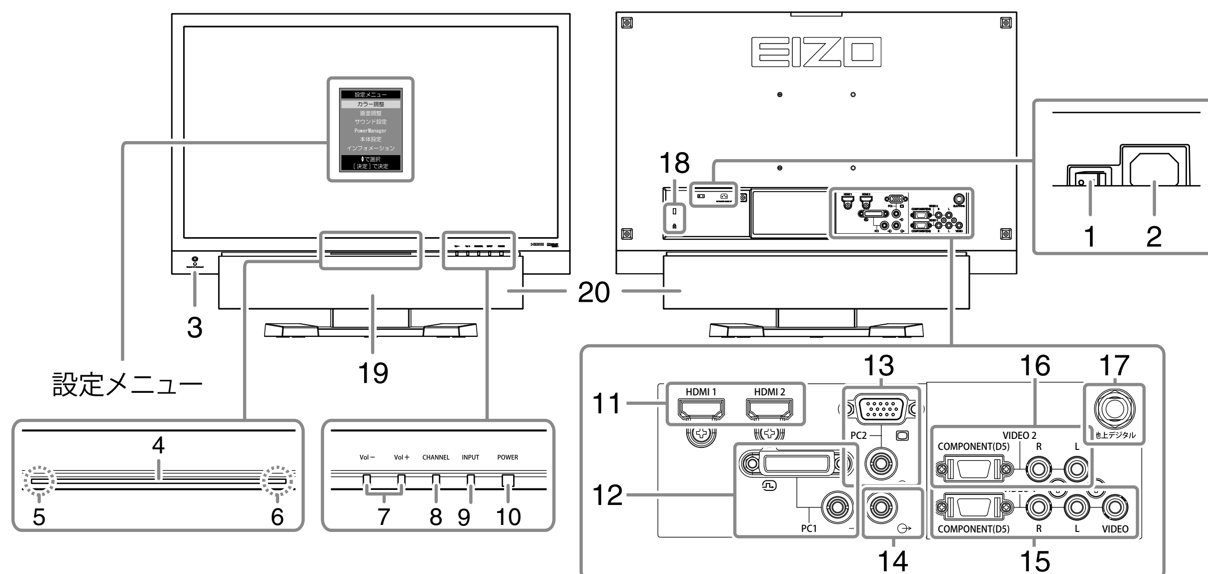
□ VESAマウント取付用ネジM4×12mm ４本

□ スタンドベース

□ スタンドベース取付用ネジ １本

1 - 3　各部の名称と機能

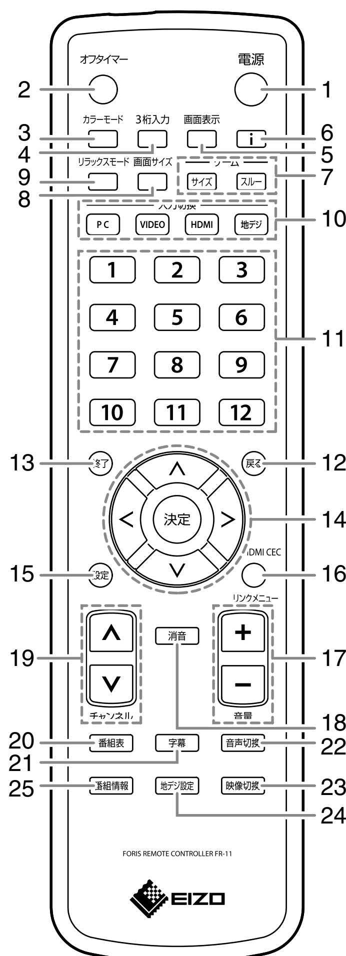
本体



1	**主電源スイッチ**	主電源のオン/オフを切り換えます。
2	**電源コネクタ**	電源コードを接続します。
3	**ヘッドホン端子**	［ステレオミニジャック］ ヘッドホンを接続します。
4	**Mode Indicator（モードインジケータ）**	モニターの動作状態を表すイルミネーションが点灯します。 黄 / シアン / 緑 / マゼンタ / 青※1：画面表示 橙：省電力モード 赤：電源オフ 消灯：主電源オフ
5	**センサー**	周囲の明るさを検知します。Auto EcoView（オートエコビュー）機能（P.40参照）
6	**リモコン受光部**	リモコンからの信号を受信します。
7	**Vol＋/Vol－ボタン**	音量設定画面を表示し、音量を調整します。
8	**CHANNELボタン**	チャンネルを順送りで切り換えます。
9	**INPUTボタン**	モニターに表示する入力を順に切り換えます。 テレビ放送→PC1→PC2→VIDEO1→VIDEO2→HDMI1→HDMI2→テレビ放送・・・
10	**POWERボタン**	電源のオン/オフを切り換えます。
11	**信号入力コネクタ（HDMI1/2）**	［HDMI端子×2］ AV機器/コンピュータを接続します。
12	**信号入力コネクタ（PC1）**	［映像：DVI-Dコネクタ、音声：ステレオミニジャック］ コンピュータを接続します。
13	**信号入力コネクタ（PC2）**	［映像：D-Sub15ピン（ミニ）コネクタ、音声：ステレオミニジャック］ コンピュータを接続します。
14	**音声出力端子**	［ステレオミニジャック］ オーディオ機器を接続します。
15	**信号入力コネクタ（VIDEO1）**	［映像：D端子/映像入力端子（ピンジャック）、音声：ピンジャック］ AV機器を接続します。
16	**信号入力コネクタ（VIDEO2）**	［映像：D端子、音声：ピンジャック］ AV機器を接続します。
17	**地上デジタルアンテナ入力端子**	地上デジタル用アンテナを接続します。
18	**盗難防止用ロック**	Kensington社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。
19	**スピーカー**	音声を再生します。
20	**Sound Jacket（サウンドジャケット）**	スピーカーカバーです。 オプション品に取り替えることができます。

※1 選択しているカラーモードよって点灯色が異なります（P.37 参照）。また、モードごとに色を変更することもできます（P.38 参照）。

リモコン



1	**電源**	電源のオン/オフを切り換えます。
2	**オフタイマー**	電源が切れるまでの時間を設定します。
3	**カラーモード**	カラーモードを切り換えます。
4	**3桁入力**	チャンネルをチャンネル番号で選ぶときに使います。
5	**画面表示**	デジタル放送や入力の情報を表示/非表示します。
6	**i**	インフォメーションメニューを表示 / 非表示します。
7	**ゲーム**	ゲーム映像を表示しているときに使用します。
	サイズ	画面の表示サイズを切り換えます。
	スルー	スルーモードに切り換えます。 （VIDEO/HDMI（ビデオ信号）入力時のみ有効）
8	**画面サイズ**	画面サイズを切り換えます。
9	**リラックスモード**	画面を正面以外の位置（上または下）から見るような場合に、視聴角度を調整し正面からの見えかたに近づけます。
10	**入力切換**	入力を切り換えます。
	PC	PC1/PC2
	VIDEO	VIDEO1/VIDEO2
	HDMI	HDMI1/HDMI2
	地デジ	地上デジタル放送
11	**数字ボタン**	チャンネルを選ぶときや数字入力、文字入力に使います。
12	**戻る**	メニュー操作時､メニューを一つ前の画面に戻します。
13	**終了**	メニュー操作時、メニューを終了します。
14	**∧ / ∨ / < / > / 決定**	画面に表示される各種メニューの項目選択や、設定･調整を決定するときに使用します。
15	**設定**	設定メニューを表示/終了します。
16	**リンクメニュー（HDMI CEC）**	リンクメニューを表示/終了します。
17	**音量**	音量を調節します。
18	**消音**	音声を一時的に消します。
19	**チャンネル**	チャンネルを順送りで切り換えます。
20	**番組表**	番組表を表示/終了します。
21	**字幕**	字幕の表示（オン/オフ）や字幕言語を切り換えます。
22	**音声切換**	音声を切り換えます。
23	**映像切換**	地上デジタル放送視聴中にマルチビューなどを切り換えます。
24	**地デジ設定**	地上デジタル放送の設定メニュー（地デジ設定メニュー）を表示/終了します。
25	**番組情報**	番組の内容説明を表示します。

参 考

- スルーモードとは、映像表示時の遅延を最小にしたモードです。

1 - 4　機能一覧とメニュー基本操作方法

設定メニュー

● 機能一覧

注意点

- 入力によって設定できる機能が異なります（「設定メニュー項目一覧」P.71 参照）。

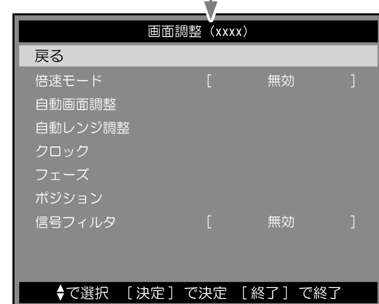


カラー調整をする（簡易調整）

- カラーモードを選ぶ［カラーモード］　………P.37 参照

カラー調整をする（詳細調整）

- それぞれのモードに対して、［ブライトネス / 黒レベル / コントラスト / 色の濃さ / 色合い / 色温度 /Auto EcoView/ コントラスト拡張 / 輪郭補正 / ガンマ / リラックスモード / ゲイン /RGB バランス / ノイズフィルタ / I/P 変換 / 倍速モード切換］の設定ができます。　……………P.38 参照



画面の調整をする

■ PC 入力時

- 倍速モードの有効 / 無効を切り換える［倍速モード］…………………P.42 参照
- 画面のちらつき･表示位置･サイズを自動調整する［自動画面調整］…P.44 参照
- 色階調を自動調整する［自動レンジ調整］　……………………………P.46 参照
- 縦縞を消す［クロック］　…………………………………………………P.45 参照
- ちらつきやにじみをとる［フェーズ］　…………………………………P.46 参照
- 表示位置のずれを直す［ポジション］　…………………………………P.46 参照
- 画面にノイズが現れた場合に設定する［信号フィルタ］　……………P.62 参照

■ VIDEO 入力時

- 画面サイズの自動切換の有効 / 無効を切り換える［画面サイズ自動切換］　……………………………………………………P.54 参照
- 映像の色にじみや色縞、点状のノイズをとる［3D YC 分離］　………P.63 参照
- 正しく画面が表示されない場合に設定する［カラーシステム］　……P.63 参照
- ちらつきやにじみをとる［フェーズ］　…………………………………P.47 参照
- 表示位置のずれを直す［ポジション］　…………………………………P.47 参照

■ HDMI（PC 信号）入力時

- HDMI 入力に接続した機器を設定する［接続機器］……………………P.48 参照
- 正しく色が表示されない場合に設定する［カラースペース］　………P.62 参照
- 倍速モードの有効 / 無効を切り換える［倍速モード］…………………P.42 参照

■ HDMI（ビデオ信号）入力時

- HDMI 入力に接続した機器を設定する［接続機器］……………………P.48 参照
- 正しく色が表示されない場合に設定する［カラースペース］　………P.63 参照
- 画面サイズの自動切換の有効 / 無効を切り換える［画面サイズ自動切換］　……………………………………………………P.54 参照
- 表示位置のずれを直す［ポジション］　…………………………………P.48 参照

■テレビ放送時

- 画面の表示率を設定する［放送表示モード］　…………………………P.56 参照



音声を調整する

- 音声の出力先を選択する［出力選択］　…………………………………P.49 参照

■スピーカー調整 / ヘッドホン調整

- 左右の音量バランスを調整する［バランス］……………………………P.49 参照
- 高音 / 低音を調整する［高音 / 低音］ …………………………………P.49 参照
- バーチャル 5.1ch サラウンドの設定を切り換える［Virtual 5.1ch Surround］（ヘッドホン調整のみ）　…………………P.50 参照
- 音声のレベルを調整する［音声レベル］　………………………………P.50 参照
- HDMI 入力の音源を設定する［音源］ …………………………………P.51 参照



省電力設定をする

■ PC/HDMI（PC 信号）入力時

- 無操作時の自動電源オフの有効 / 無効を切り換える
  ［無操作電源オフ］ ……………………………P.51 参照
- モニターの省電力モードの有効 / 無効を切り換える
  ［パワーセーブ（PC）］ ………………………P.52 参照

■ VIDEO/HDMI（ビデオ信号）入力およびテレビ放送時

- 無操作時の自動電源オフの有効 / 無効を切り換える
  ［無操作電源オフ］ ……………………………P.51 参照
- 無信号時の自動電源オフの有効 / 無効を切り換える
  ［無信号電源オフ］ ……………………………P.51 参照

本体設定をする

- HDMI CEC 設定をおこなう
  ［HDMI CEC 機能 / 電源オン連動 / 電源オフ連動］
  ………………………………………………P.33 参照
- イルミネーションの明るさを設定する
  ［イルミネーション輝度］ ……………………P.38 参照
- 操作ボタンをロックする［操作ロック］ ……P.58 参照
- EIZO ロゴの表示 / 非表示を切り換える
  ［起動ロゴ］ ……………………………………P.58 参照
- 倍速デモ表示をおこなう［倍速デモ］ ………P.43 参照
- すべての設定内容をリセットする（地デジ設定メニューの設定を除く）［リセット］ ……………………P.59 参照

情報をみる

- モニター情報を表示する
  ［インフォメーション］ ………………………P.58 参照

● 基本操作方法

［設定メニューの表示と機能の選択］

■ 設定メニューの表示

リモコンの (設定) を押します

■ 項目選択メニュー、設定 / 調整画面の表示

コントロールボタン（ (▲) / (▼) ）で機能を選択し、(決定) を押します。

■ 設定 / 調整

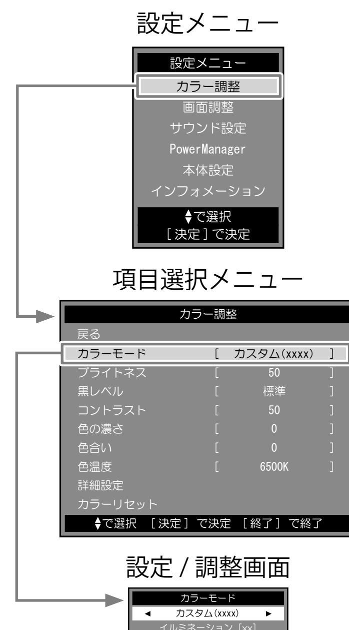
コントロールボタン（ (▲) / (▼) / (◀) / (▶) ）で設定 / 調整します。

■ 確定

(決定) を押します。

［メニューの終了］

(終了) を押します。

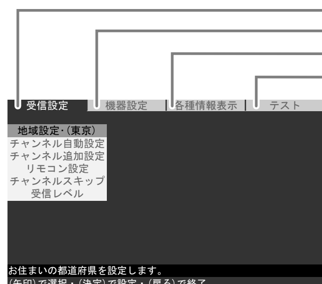


参考

- リモコンの (戻る) を押すと、一つ前のメニュー画面に戻ります。

地デジ設定メニュー

● 機能一覧



受信設定

- お住まいの地域を設定する［地域設定］ ……P.28 参照
- チャンネル設定をする［チャンネル自動設定］P.28 参照
- チャンネルを追加設定する
  ［チャンネル追加設定］ ……………………………P.29 参照
- チャンネルボタンの登録を手動で変更する
  ［リモコン設定］ ……………………………………P.29 参照
- チャンネルスキップを登録する
  ［チャンネルスキップ］ ……………………………P.30 参照
- 受信レベルを確認する［受信レベル］ ………P.30 参照

機器設定

- 暗証番号を設定する［暗証番号］ ……………P.59 参照
- 字幕・文字スーパーの表示を設定する
  ［字幕・文字スーパー］ ……………………………P.36 参照
- 音声を切り換える［音声切換］ ………………P.36 参照
- 番組表の取得方法を設定する
  ［番組表取得設定］ …………………………………P.35 参照

各種情報表示

- B-CAS カードの登録番号を表示する
  ［B-CAS 情報］ ………………………………………P.25 参照
- ソフトウェアのバージョンを表示する
  ［バージョン情報］ …………………………………P.57 参照
- 放送メールを表示する［放送メール］ ………P.57 参照

テスト

- B-CAS カードの動作をテストする
  ［B-CAS テスト］ ……………………………………P.25 参照
- 地デジ設定メニューの設定をリセットする
  ［全設定消去］ ………………………………………P.59 参照

● 基本操作方法

［地デジ設定メニューの表示と機能の選択］

■地デジ設定メニューの表示

リモコンの 地デジ設定 を押します

■項目選択メニュー、設定画面の表示

コントロールボタン（ < / > ）でタブを選択します。

コントロールボタン（ ∧ / ∨ ）で機能を選択し、 決定 を押します。

■設定

コントロールボタン（ ∧ / ∨ ）で設定します。

■確定

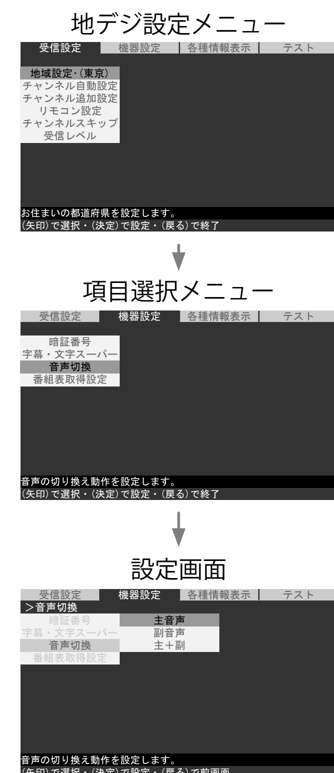
決定 を押します。

［メニューの終了］

地デジ設定 を押します。

参 考

- リモコンの 戻る を押すと、一つ前のメニュー画面に戻ります。



第 2 章　準備する

2－1　準備の流れ

以下の流れで必要な準備（設置・接続・設定）をおこないます。

手順①　2-2　スタンドベースを取り付ける　P.20

手順②　2-3　リモコンを準備する　P.20

手順③　2-4　接続する

- コンピュータのモニターとして使用する場合　P.21
  - ■ コンピュータを接続する
- AV機器を使用する場合　P.24
  - ■ AV機器を接続する
- テレビを見る場合　P.25
  - ■ B-CASカードを取り付ける
  - ■ アンテナを接続する
- オーディオ機器を使用する場合　P.27
  - ■ オーディオ機器を接続する



電源コードの接続　P.27

手順④　2-5　角度を調節する　P.27

テレビを見る場合･･･

手順⑤　P.28

2-6　地上デジタル放送の受信設定をおこなう

デジタル放送を見るための設定をおこないます。

以上で準備完了です。

必要に応じて･･･
画面や音声の調整、本機の設定などをおこなってください。

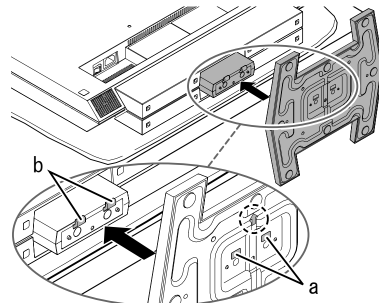
参考

- アンテナを接続した後に、アンテナの方向調整が必要になる場合があります。

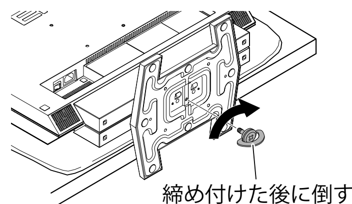
2‐2　スタンドベースを取り付ける

(1) モニターの液晶パネルが傷つかないよう、安定した場所に柔らかい布などを敷いた上に、パネル面を下に向けて置きます。

(2) スタンドベースを図のように「⬆」の方向を上にして持ち、スタンドベースの穴（a）2 箇所にモニター本体底面のツメ（b）2 箇所を合わせてはめ込みます。

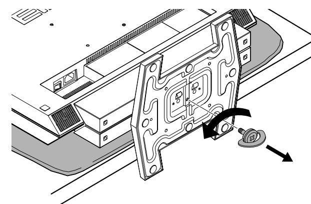


(3) 付属のネジを「LOCK」の方向に回して、スタンドベースを固定します。



参 考

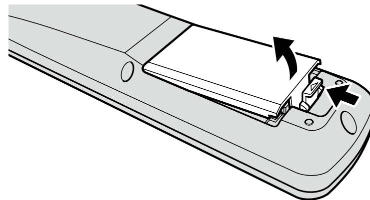
・スタンドベースを取り外すときは、固定しているネジを「RELEASE」の方向に回して外し、スタンドベースを上に持ち上げるようにして取り外します。



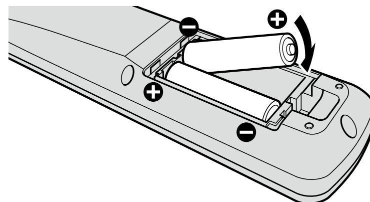
2‐3　リモコンを準備する

● 乾電池を入れる

(1) リモコンの底面を上にし、つまみを押してロックを外し、カバーを取り外します。

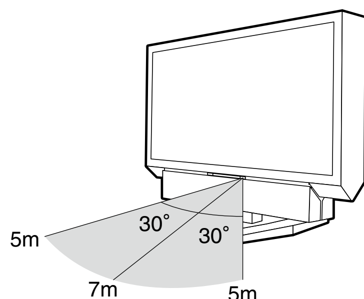


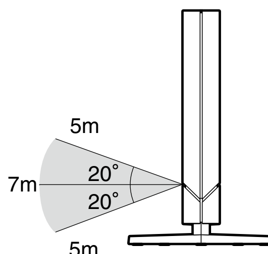
(2) 単 3 形乾電池を入れ、カバーを元に戻します。



● 受信範囲

リモコンは図の範囲から操作してください。





2 - 4　接続する

［接続手順］

1　**本機の用途に応じて外部機器やアンテナなどを接続します。**

・ コンピュータのモニターとして使用する場合 P.21
・ AV 機器を使用する場合 P.24
・ テレビを見る場合... P.25
・ オーディオ機器を使用する場合 P.27

● コンピュータのモニターとして使用する場合

注意点

・今まで使用していたモニターを本機に置き換える場合、接続する前に下記を参照して、コンピュータの設定を必ず本機で表示できる解像度、垂直周波数に変更しておいてください。

対応解像度

本機は以下の解像度に対応しています。

解像度	垂直周波数	表示モード	デジタル信号入力の場合	アナログ信号入力の場合
640 × 400	70Hz	NEC PC-9821	−	○
640 × 480	67Hz	Apple Macintosh	−	○
640 × 480	~75Hz	VGA, VESA	○（60Hz）	○
720 × 400	70Hz	VGA TEXT	○	○
720 × 480	60Hz	VESA	○	○
848 × 480	60Hz	VESA	○	○
800 × 600	~75Hz	VESA	○（60Hz）	○
832 × 624	75Hz	Apple Macintosh	−	○
1024 × 768	~75Hz	VESA	○（60Hz）	○
1152 × 864	75Hz	VESA	−	○
1152 × 870	75Hz	Apple Macintosh	−	○
1280 × 768 ※1	60Hz	VESA CVT RB	○	○
1280 × 768 ※1	~75Hz	VESA CVT	○（60Hz）	○
1280 × 960	60Hz	VESA	○	○
1280 × 960	75Hz	Apple Macintosh	−	○
1280 × 1024	~75Hz	VESA	○（60Hz）	○
1360 × 768	60Hz	VESA	○	○
1680 × 1050 ※1	60Hz	VESA CVT	○	○
1680 × 1050 ※1	60Hz	VESA CVT RB	○	○
1280 × 720p	50Hz ※3, 60 Hz	720p	○	○
1920 × 1080p ※2	50Hz ※3, 60 Hz	1080p	○	○
1920 × 1080p ※3	24Hz, 25Hz, 30Hz	1080p	○	−

※1 ワイドの信号を表示する場合は、VESA CVT 規格に準拠したグラフィックスボードが必要です。

※2 推奨解像度です（この解像度にしてお使いください。）。

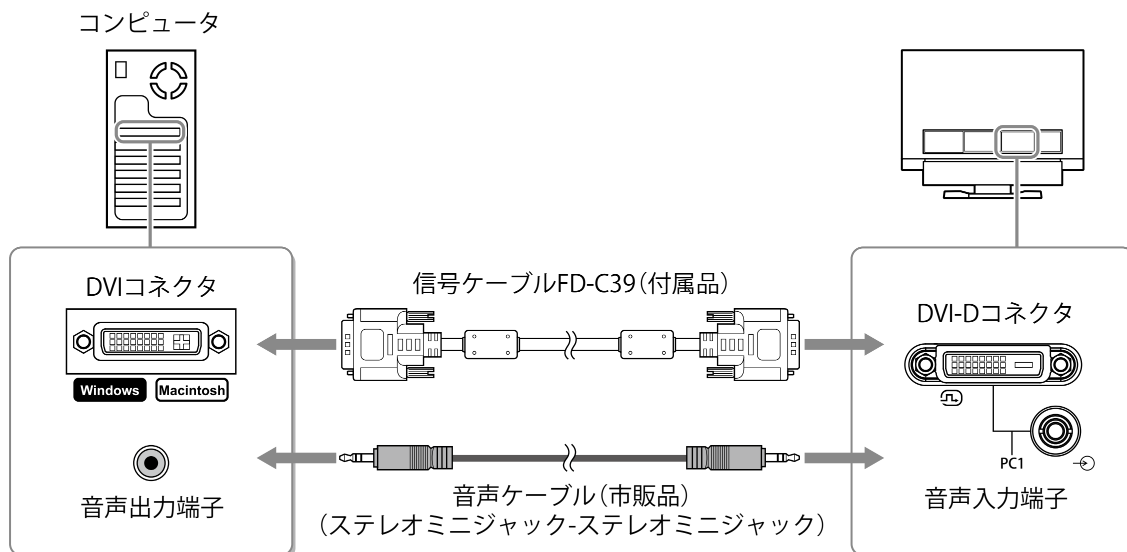
※3 マイクロソフト社製 Xbox 360 など、一部の AV 機器用途

■コンピュータを接続する

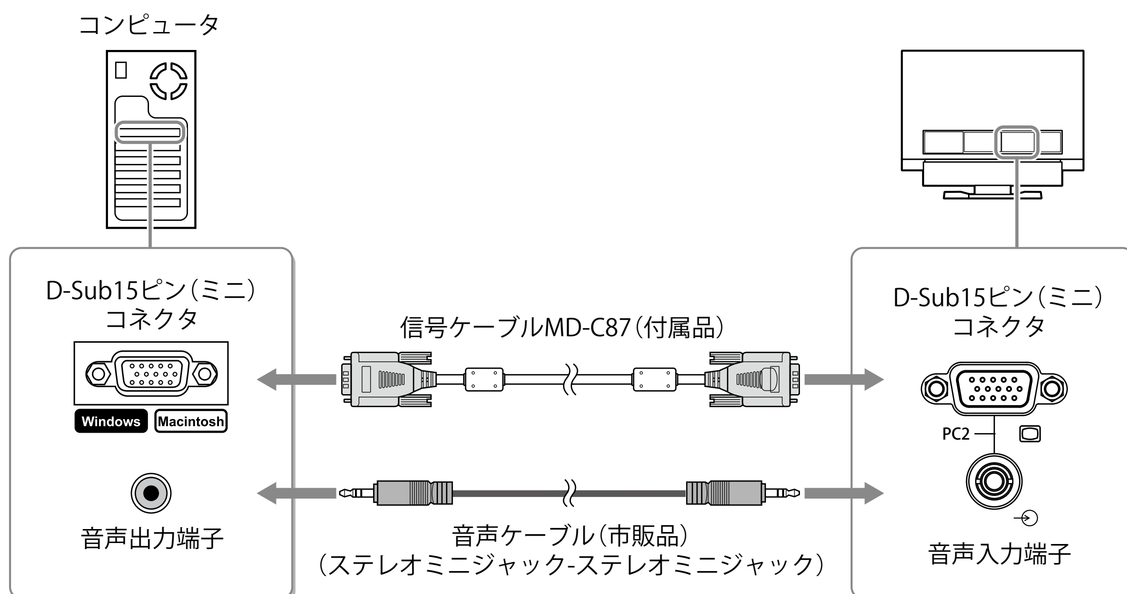
(1) コネクタに合った信号ケーブルを使って、コンピュータとモニターを接続します。

信号ケーブル接続後、各コネクタの固定ネジを最後までしっかりと回して、確実に固定してください。

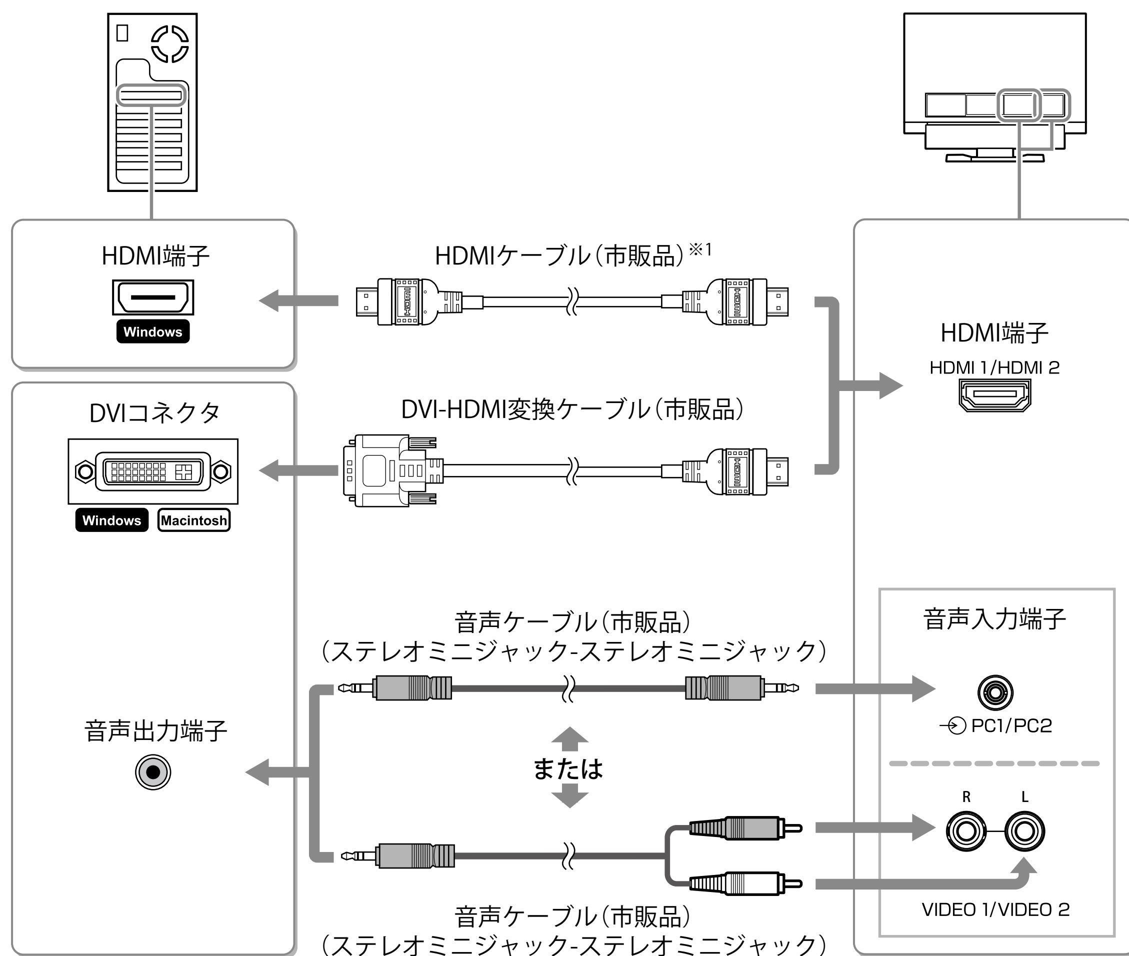
【PC1 入力に接続する場合（デジタル信号接続）】



【PC2 入力に接続する場合（アナログ信号接続）】



【HDMI1/2 入力に接続する場合（デジタル信号接続）】



※1「High Speed HDMI™ Cable」と表記のあるケーブルをご使用ください。

注意点

- コンピュータを HDMI 入力に接続する場合は、必ず以下の設定をおこなってください。
  - 設定メニューの［画面調整］-［接続機器］設定を「PC」に設定してから、コンピュータを起動する（P.48 参照）
  - 設定メニューの［サウンド設定］-［音源］設定をコンピュータからの音声を入力する端子に設定する（P.51 参照）

● AV 機器を使用する場合

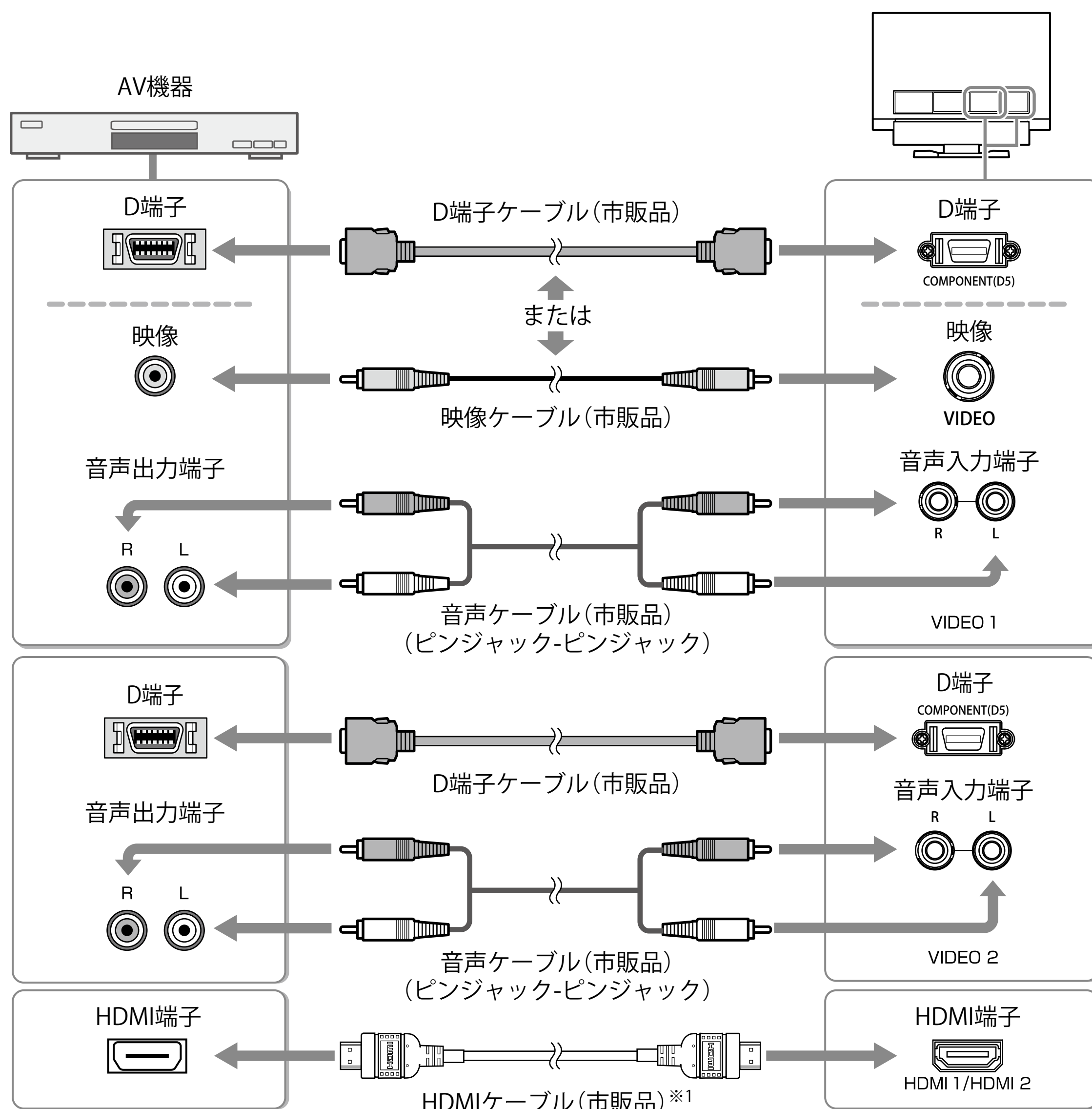
対応信号フォーマット

本機は以下の信号フォーマットに対応しています。

入力	対応フォーマット	
VIDEO 入力	映像信号の場合	- NTSC / PAL / PAL-60
	コンポーネント映像信号の場合	- 525i（480i）/ 525p（480p）：60Hz - 625i（576i）/ 625p（576p）：50Hz - 1125i（1080i）/ 750p（720p）：50Hz/60Hz - 1125p（1080p）：24Hz/50Hz/60Hz
HDMI 入力	・映像信号	- 525i（480i）/ 525p（480p）：60Hz - 625i（576i）/ 625p（576p）：50Hz - 1125i（1080i）/ 750p（720p）：50Hz/60Hz - 1125p（1080p）：24Hz/25Hz/30Hz/50Hz/60Hz
	・音声信号	- 2ch リニア PCM（32kHz / 44.1kHz / 48kHz） - Dolby Digital

■ AV 機器を接続する

(1) コネクタに合った信号ケーブルを使って、AV 機器とモニターを接続します。



※1「High Speed HDMI™ Cable」と表記のあるケーブルをご使用ください。

注意点

・AV 機器を HDMI 入力に接続する場合は、必ず以下の設定をおこなってください。

ー設定メニューの［画面調整］-［接続機器］設定を「DVD/ ビデオ」に設定する（P.48 参照）

● テレビを見る場合

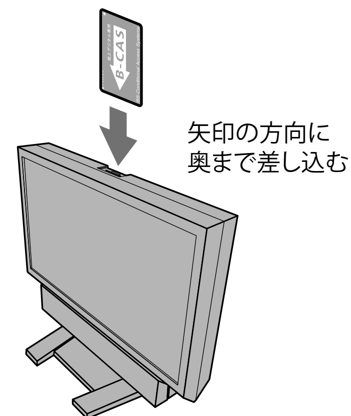
■ B-CAS カードを取り付ける

付属の B-CAS カードを本体に挿入しないと、デジタル放送の視聴はできません。デジタル放送をご覧になる前に、必ず挿入してください（B-CAS カードは常に挿入しておいてください。）。B-CAS カードの取扱いの詳細は、B-CAS カードが貼ってある台紙の説明を参照してください。

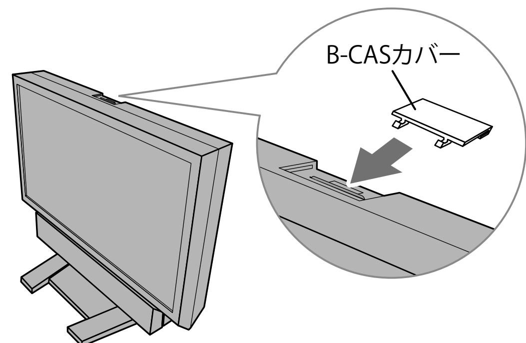
参考

・カードを紛失した場合や盗難にあった場合、また、破損したり汚れたりした場合には、（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにご連絡ください。連絡先は、B-CAS カードが貼ってある台紙に記載されています。

(1) 矢印の方向に B-CAS カードを差し込みます。
奥までしっかりと差し込んでください。

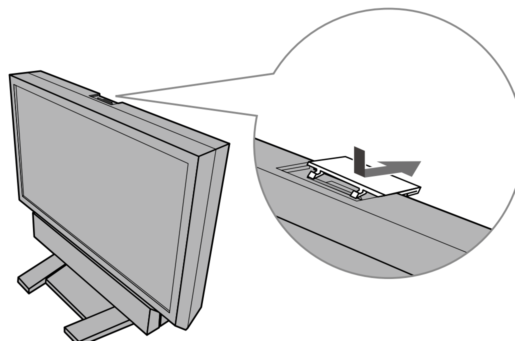


(2) 付属の B-CAS カバーを取り付けます。



参考

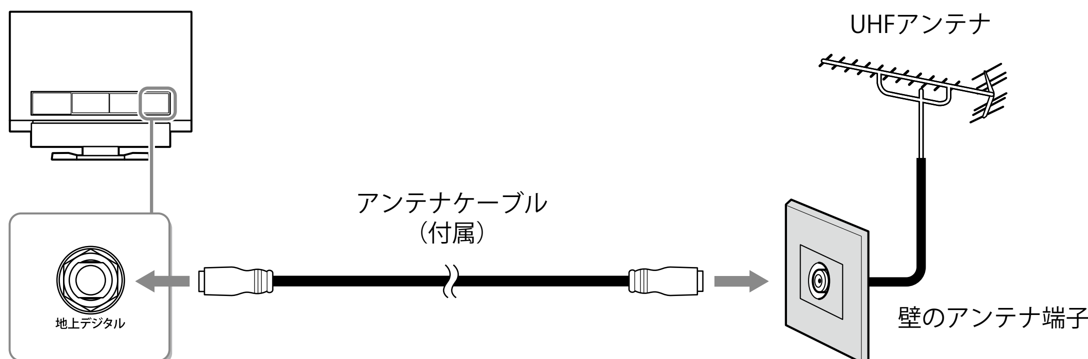
・地デジ設定メニューの［テスト］-［B-CAS テスト］で、カードが正しく挿入されているかどうか確認することができます。
・B-CAS カードの登録番号は、B-CAS カードを取り出さなくても画面に表示することができます。地デジ設定メニューの［各種情報表示］-［B-CAS 情報］で確認してください。
・B-CAS カバーを取り外すときは、下へ押しながらスライドさせてください。



■アンテナを接続する

参考

・アンテナの設置は販売店またはエイゾーサポートにご相談ください。



参考

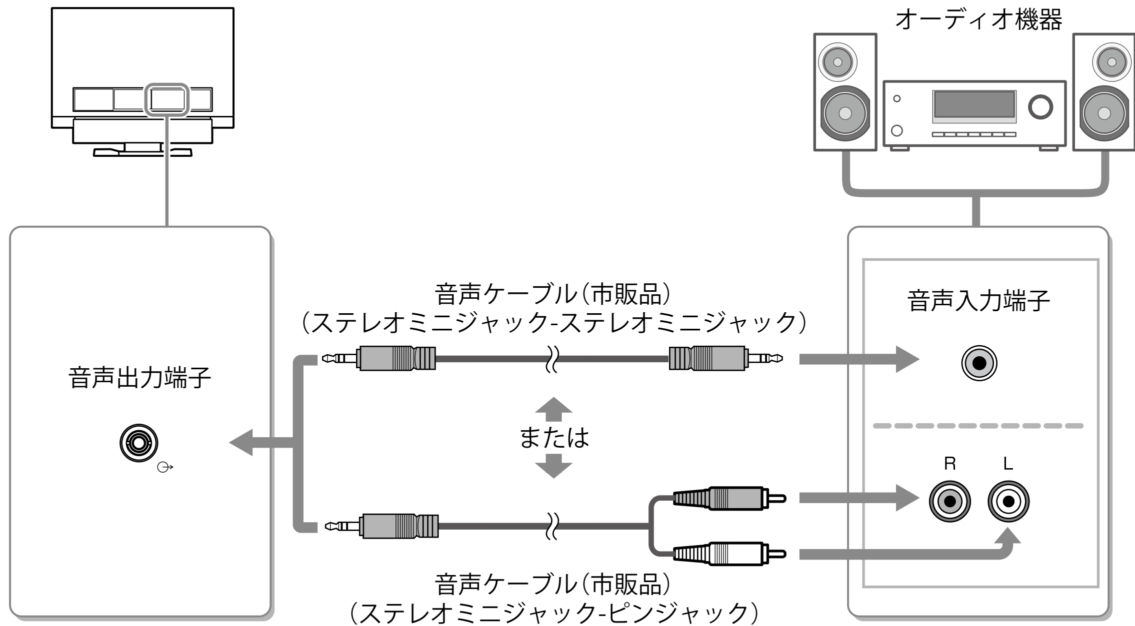
アンテナについて

- 地上デジタル放送は、UHF アンテナを使って受信します。現在使用しているアンテナやお住まいの地域に応じて、次のように設置してください。
  - VHF アンテナのみ設置されている場合
    地上デジタル放送に対応した UHF アンテナの設置が必要です。
  - UHF アンテナが設置されている場合
    そのまま地上デジタル放送を受信できる場合がありますが、次のような場合は、アンテナの調整や新たに地上デジタル放送に対応したアンテナの設置が必要です。
    - 地上デジタル放送のチャンネルと合わない場合
    - 地上アナログ放送と地上デジタル放送の電波の来る方向が違う場合
- デジタル放送の映りが悪い場合は、アンテナの方向調整が必要になることがあります（P.30 参照）。方向調整は、販売店またはエイゾーサポートにご相談ください。
- ケーブルテレビ（CATV）で地上デジタル放送が伝送される場合もあります。詳しくは、共同アンテナの管理者（マンション管理者や管理組合など）やケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

● オーディオ機器を使用する場合

■オーディオ機器を接続する

(1) コネクタに合った信号ケーブルを使って、オーディオ機器とモニターを接続します。

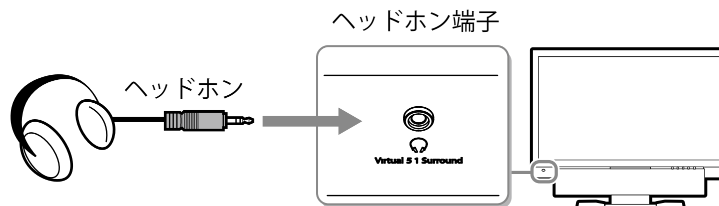


注意点

- オーディオ機器を使用する場合は、必ず以下の設定をおこなってください。
  - 設定メニューの［サウンド設定］-［出力選択］設定を「ラインアウト」に設定する（「ラインアウト」に設定した場合は、オーディオ機器の音量に注意してください。）。
- 音量や音声の調整はオーディオ機器側でおこなってください。

参考

- ヘッドホンを使用する場合は、モニターのヘッドホン端子に接続してください。

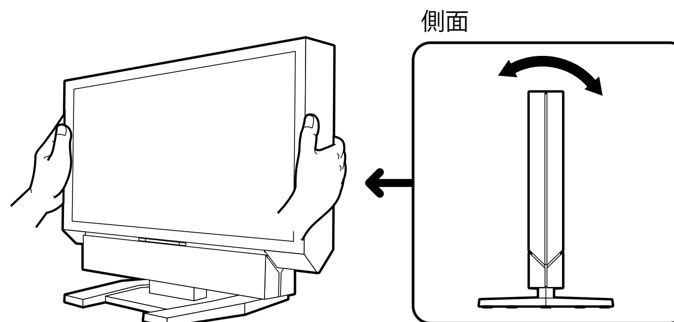


2 電源コンセントに接続します。

付属の電源コードを電源コネクタと電源コンセントに接続します。

2-5 角度を調節する

モニターの左右を両手で持ち、画面の上下の角度を作業に適した状態になるように調整します。



注意点

- ケーブル類が正しく差し込まれているかご確認ください。

2 - 6　地上デジタル放送の受信設定をおこなう

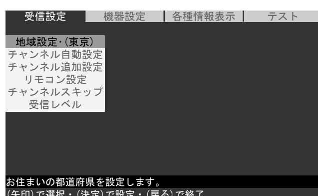
次の順序でデジタル放送を見るために必要な設定をおこない、チャンネルの設定をお住まいの地域の放送に合わせます。

1 **リモコンの 電源（または本体の POWER ボタン）を押して電源を入れます。**

2 **地デジ を押し、地上デジタル放送に切り換えます。**

3 **地デジ設定 を押します。**

地デジ設定メニューが表示されます。



4 **∧ / ∨ で［受信設定］メニューの［地域設定］を選択し、決定 を押します。**

5 **∧ または ∨ でお住まいの地域を選択し、決定 を押します。**

選択した地域の都府県または支庁の一覧が表示されます。

6 **∧ または ∨ で都府県または支庁を選択し、決定 を押します。**

7 **∧ または ∨ で［チャンネル自動設定］を選択し、決定 を押します。**

チャンネル検索方法選択画面が表示されます。

8 **∧ または ∨ でチャンネル検索方法を選択し、決定 を押します。**

探す（全チャンネル）	受信できるすべての放送局を自動的に検索し、画面に表示します。 通常は､｢探す（全チャンネル）｣を選択します。
探す（UHF13 ～ 62CH）	受信できる放送局のうち UHF13 ～ 62 のみを検索します。

受信できる放送局が自動的に検索されます。

- 受信できる放送局が検索されなかった場合

  「受信できる放送局が見つかりませんでした。」と表示されます。「アンテナを接続する」（P.26）を参照して、アンテナの接続を確認してください。

9 **＜ または ＞ で「更新する」を選択し、決定 を押します。**

10 **地デジ設定 を押して設定を終了します。**

注意点

- テレビを見ない場合は設定する必要はありません。

注意点

- 実際と異なる地域を設定した場合、チャンネルが正しく設定されない場合があります。

参 考

- 設定されるチャンネルの目安については「6 - 4　地上デジタル放送の放送一覧」（P.67）を参照してください。
- チャンネルを修正したい場合は、「チャンネルボタンの登録を手動で変更する［リモコン設定］」（P.29）を参照してください。

参 考

- デジタル放送の映りが悪い場合は、アンテナの方向調整が必要になることがあります（P.30）。方向調整は、販売店またはエイゾーサポートにご相談ください。

チャンネル設定を修正する

［チャンネル自動設定］にて自動で設定されたチャンネル設定を修正できます。必要に応じて、設定してください。

● チャンネルを追加設定する［チャンネル追加設定］

地上デジタル放送の受信状況が変わったとき（新たに放送局が追加されたときなど）、受信できる局を追加します。

(1) 地デジ設定メニューの［受信設定］を選択します。

(2) ［受信設定］メニューで［チャンネル追加設定］を選択し、決定 を押します。

チャンネル検索方法選択画面が表示されます。
検索方法については「2 - 6. 地上デジタル放送の受信設定をおこなう」の手順 8（P.28）以降を参照してください。

● チャンネルボタンの登録を手動で変更する［リモコン設定］

リモコンの数字ボタン 1 〜 12 に設定されているチャンネル（放送局）の登録をお好みの設定に変更することができます。

(1) 地デジ設定メニューの［受信設定］を選択します。

(2) ［受信設定］メニューで［リモコン設定］を選択し、決定 を押します。
チャンネル（数字）ボタンと現在割り当てられている放送局の一覧が表示されます。

(3) ∧ または ∨ で変更したいチャンネル（数字）ボタンの番号を選択し、決定 を押します。
放送局の選択画面が表示されます。

(4) ∧ または ∨ で登録したい放送局を選択し、決定 を押します。
選んだ放送局が指定のチャンネル（ボタン）に割り当てられます。

(5) 手順 (3)、(4) を繰り返し、各放送局をお好みのチャンネル（数字）ボタンに割り当てます。

● **チャンネルスキップを登録する［チャンネルスキップ］**

チャンネルスキップを登録して、特定のチャンネル（放送局）が視聴できないようにすることができます。

(1) 地デジ設定メニューの［受信設定］を選択します。

(2)［受信設定］メニューで［チャンネルスキップ］を選択し、（決定）を押します。

現在割り当てられている放送局の一覧が表示されます。

(3)（∧）または（∨）でチャンネルスキップを設定したいチャンネル（放送局）を選択し、（決定）を押します。

チャンネルスキップを設定したチャンネル（放送局）は、□（チェックボックス）が橙色で表示されます。

(4) 手順 (3) を繰り返し、視聴できないようにしたいチャンネル（放送局）すべてにチャンネルスキップを設定します。

参考
- チャンネルスキップを設定したチャンネル（数字）ボタンを操作した場合は、「このボタンはチャンネル登録されていません」という表示が出ます。
- ∧（チャンネル）または∨（チャンネル）を操作した場合も、チャンネルスキップを設定したチャンネル（放送局）は選局できません。
- チャンネルスキップを設定したチャンネル（放送局）は、チャンネルボタンの登録を手動で変更することはできません。
- チャンネルスキップを解除するときは、手順 (3) でチャンネルスキップを設定したチャンネル（放送局）を選択し、もう一度（決定）を押してください。

受信レベルを確認する［受信レベル］

各放送局の受信状態の目安（受信の品質）を確認します。

(1) 地デジ設定メニューの［受信設定］を選択します。

(2)［受信設定］メニューで［受信レベル］を選択し、（決定）を押します。

現在受信可能なチャンネル一覧が表示されます。

(3) ∧（チャンネル）または∨（チャンネル）で受信レベルを確認したい放送局を選択し、（決定）を押します。

(4) 画面に表示される受信レベルを確認します。

赤色	映像が正常に映りにくい（受信レベル：0 ～ 39%）
黄色	ほぼ正常に映る（受信レベル：40 ～ 59%）
緑色	正常に映る（受信レベル：60 ～ 100%）

参考
- 表示される「受信レベル」は、アンテナの方向調整などに使うためのもので、絶対的な電波の強さを示すものではありません。

注意点
- 受信レベルを確認する場合は、事前に地域の設定（P.28）、受信チャンネルの設定（P.28）をする必要があります。

第 3 章　操作する

3 - 1　入力を切り換える

表示したい機器が接続されている入力、またはテレビ放送に切り換えることができます。

(1) リモコンの [PC] [VIDEO] [HDMI] [地デジ] を押します。
入力が切り換わります。
- [PC]：PC1 → PC2 ※1
- [VIDEO]：VIDEO1 → VIDEO2 ※1
- [HDMI]：HDMI1 → HDMI2 ※1
- [地デジ]：地上デジタル放送

※1 ボタンを押すたびに切り換わります。

参 考
・入力は本体操作ボタンでも切り換えることができます（P.14 参照）。

3 - 2　音量を調節する

● 音量を調節する

スピーカーやヘッドホンの音量を調節することができます。
調節範囲：0 ～ 50

(1) リモコンの [+ 音量] [- 音量] を押します。

注意点
・設定メニューの［サウンド設定］-［出力選択］設定（P.49）を「ラインアウト」に設定している場合は、音量を調節することができません。

参 考
・音量は本体操作ボタンでも調節することができます（P.14 参照）。

● 音を消す

(1) リモコンの [消音] を押します。
音声が一時的に消えます。
もう一度 [消音] を押すか [+ 音量] を押して音量を上げると、音声が出ます。

参 考
・本体操作ボタンの [Vol＋] を押しても、消音を解除することができます。

3‐3　外部機器を操作する（HDMI CEC 機能）

● HDMI CEC 機能について

本機は、HDMI CEC（Consumer Electronics Control）に対応しています。本機に HDMI CEC に対応した外部機器を HDMI ケーブルで接続することによって相互の制御が可能になります。

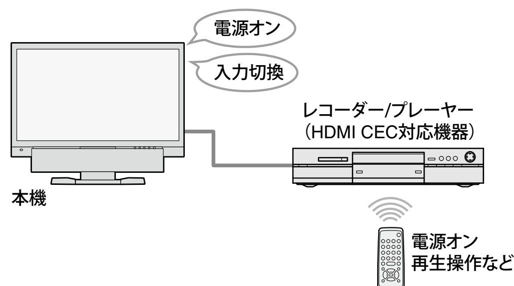
HDMI CEC 機能を使用する場合は、HDMI CEC 設定（P.33 参照）が必要です。

注意点

- HDMI CEC 機能を使って本機から操作できる外部機器は、HDMI CEC に対応したレコーダーおよびプレーヤーのみです。
  ただし、機器によっては、正しく動作しないことがあります。
  また、AV アンプや HDMI セレクタなどを介して接続した場合も、HDMI CEC 機能は動作しません。
- 接続機器を追加したり、接続している入力を変更した場合は、機器の接続状態を変更する必要があります。接続機器の電源を入れた状態で、リンクメニューを表示し、［機器一覧］画面で［機器を探す］を選択してください（P.33 参照）。（「しばらくお待ちください。」というメッセージが表示されている間は本機および接続機器の電源を切らないでください。）

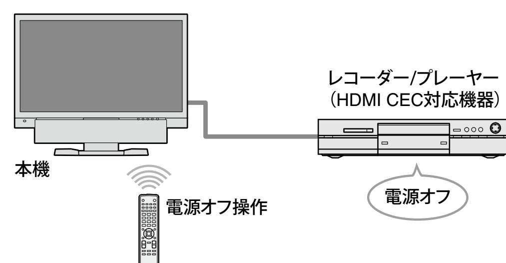
■ 電源オン連動

外部機器の電源を入れたり再生操作などをおこなうと、本機の電源が入り、入力が切り換わります。



■ 電源オフ連動

本機の電源を切ると、外部機器の電源も切れます。

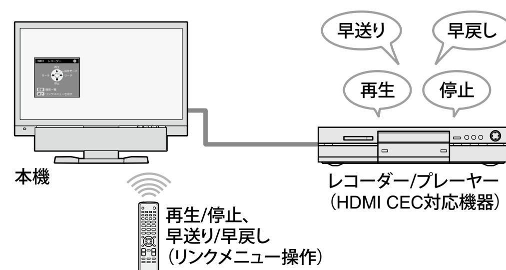


参 考

- 電源オン連動は、本機に接続しているどの機器からでも動作します。
- 電源オフ連動は、本機に接続されているすべての機器に対して動作します。

■ 外部機器の再生操作

本機のリモコンで、外部機器の再生 / 停止、早送り / 早戻しができます。

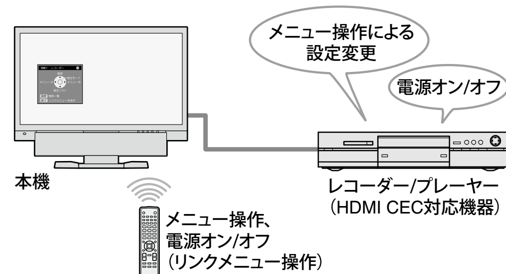


参 考

- 外部機器の再生操作、メニュー操作は、操作対象となる機器に対してのみ動作します。
  ただし、機器によっては、正しく動作しないことがあります。
- 再生操作、メニュー操作のしかたについては、P.34 を参照してください。

■ 外部機器のメニュー操作

本機のリモコンで、外部機器のメニューが操作できます。



● HDMI CEC 設定をおこなう

■ HDMI CEC 機能を有効にする［HDMI CEC 機能］

(1) 外部機器側の HDMI CEC の設定が有効になっていることを確認します。
設定方法については、外部機器の取扱説明書を参照してください。

(2) 設定メニューの［本体設定］を選択し、(決定) を押します。

(3)［本体設定］メニューで［HDMI CEC 機能］を選択し、(決定) を押します。
［HDMI CEC 機能］設定画面が表示されます。

(4) (<) または (>) で「有効」を選択し、(決定) を押します。
設定が完了します。

参 考
- ［HDMI CEC 機能］を「有効」に設定すると、［電源オン連動］/［電源オフ連動］を選択できるようになります。

■ 電源オン連動 / 電源オフ連動を有効にする［電源オン連動］/［電源オフ連動］

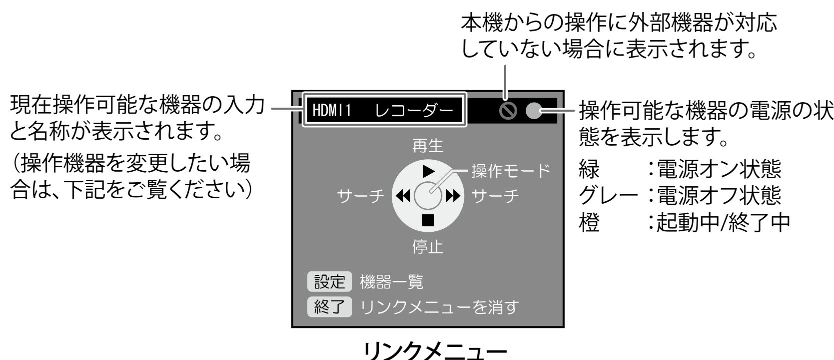
(1)［本体設定］メニューで［電源オン連動］または［電源オフ連動］を選択し、(決定) を押します。
［電源オン連動］または［電源オフ連動］設定画面が表示されます。

(2) (<) または (>) で「有効」を選択し、(決定) を押します。
設定が完了します。

● 再生操作 / メニュー操作のしかた

リンクメニューを表示して操作します。

(1) リモコンの (HDMI CEC リンクメニュー) を押します。
リンクメニューが表示されます。

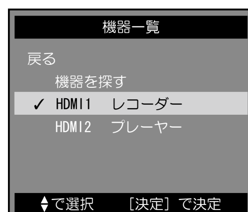


リンクメニュー

注意点
- (HDMI CEC リンクメニュー) を押したときに、機器一覧が表示され「操作できる機器がありません。」と表示された場合は、機器の接続や機器の電源が入っているかを確認して、［機器を探す］を選択し、(決定) を押してみてください。
- リンクメニューを消すときは、リモコンの (終了) を押します。

■ 操作機器を切り換えるときは

(1) リンクメニューの表示中に、(設定) を押します。
操作可能な機器の一覧が表示されます。
現在選択されている機器に「✓」マークが表示されています。



(2) (∧) または (∨) で操作する機器を選択し、(決定) を押します。
設定が完了します。

参 考
- 機器一覧に操作したい機器が表示されない場合は、機器の接続や機器の電源が入っているかを確認して、［機器を探す］を選択し、(決定) を押してみてください。
- 入力を切り換えることによっても、操作機器を変更できます。

■操作方法

リンクメニューには「再生モード」と「操作モード」の 2 種類のモードがあり、各モードでできる操作が異なります。

各モードでできる操作は次のとおりです。

- 再生モード：外部機器の再生操作（再生 / 停止、早送り / 早戻し）
- 操作モード：外部機器のメニュー操作（メニュー操作、電源オン / オフ）

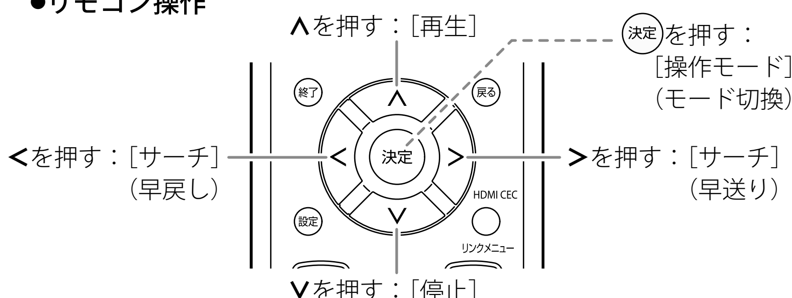
（決定）を押してモードを切り換え、各モード画面の表示に対応したリモコンボタンを押して、外部機器を操作します（下記参照）。

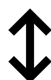
■外部機器の再生操作（再生モード）

●再生モード画面



●リモコン操作





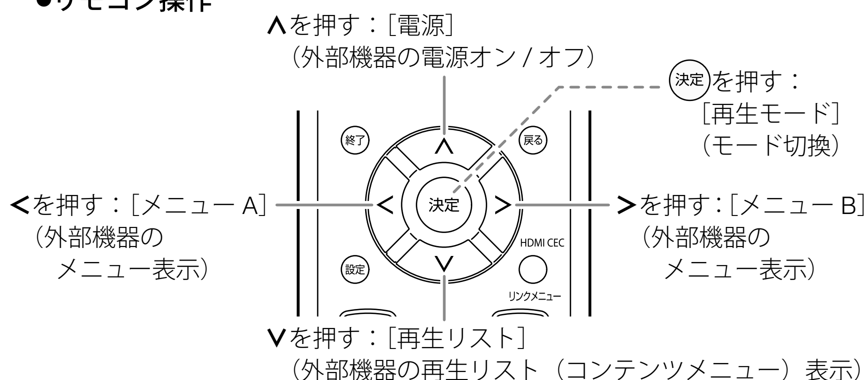
（決定）を押すと、モードが切り換わります。

■外部機器のメニュー操作（操作モード）

●操作モード画面

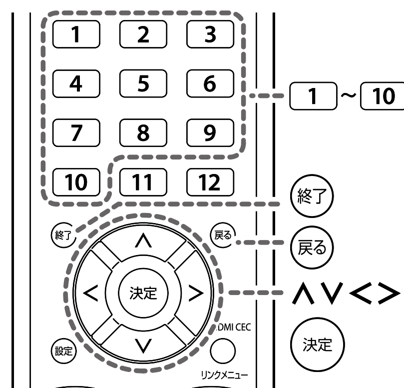


●リモコン操作



注意点

- ＜ または ＞ を押して表示されるメニューは、外部機器によって異なります。
- 外部機器のメニュー / 再生リストが表示されたら、（終了）を押してリンクメニューを消してください（リンクメニューを消さないと、外部機器のメニュー / 再生リストが操作できません。）。
- 外部機器のメニュー表示時には、右のリモコンボタンが使えます。（ボタンを押したときの動作は、メニューによって異なります。）



3 - 4　テレビを見る

● チャンネルを選ぶ

■ リモコンの数字ボタンで選ぶ

(1) リモコンの [1] ～ [12] のいずれかを押します。
あらかじめボタンに割り当てられているチャンネルに変わります。

■ 順送りで選ぶ

(1) リモコンの [∧ チャンネル] または [∨ チャンネル] を押します。
チャンネルが、順番に表示されます。

■ チャンネル番号で選ぶ

(1) リモコンの [3桁入力] を押し、[1] ～ [10] でチャンネル番号を押します。（「10」を押すと「0」が入力されます。）
入力したチャンネル番号の放送に切り換わります。

注意点

- 地上デジタル放送は、受信設定（P.28 参照）をおこなわないと選局できません。

参 考

- 本体操作ボタンの［チャンネル切換］を押しても、チャンネルを順送りで切り換えることができます。
- 本機では、受信チャンネルの設定（P.28）において、16 局までの放送局が登録できます。放送局が 12 以上見つかった場合は、数字ボタン [1] ～ [12] に割り当てられない放送局がありますので、このような場合は、リモコンの [∧ チャンネル] または [∨ チャンネル] でチャンネルを選択してください。
チャンネルスキップ（P.30）を登録することで、特定のチャンネル（放送局）を視聴できないようにすることができます。

● 番組表を見る［番組表］

(1) リモコンの [番組表] を押します。
番組表が表示されます。

番　組　一　覧
○○○○ニュース　10/1（月）　20:00-20:55

	ＮＨＫ総合・東京 011 012	ＮＨＫ教育・東京 021 022 023	日本テレビ 041 042 043
20時	00 ゴルフ入門	00 ○○○○ニュース	日本国内旅番組
21時	00 趣味の時間	00 サスペンスドラマ	00 洋画劇場
22時	00 スポーツニュース		
23時 ▼	00 今日のニュース	00 海外ドラマ	20 ドキュメンタリー

（矢印）選択，（番組情報）詳細，（決定）選局，（戻る）/（番組表）終了

(2) [<] または [>] でチャンネルを、[∧] または [∨] で放送日時をスクロールします。

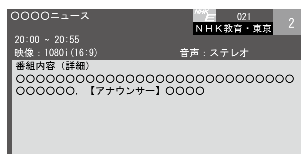
参 考

- 番組を選択して [決定] を押すと、選択しているチャンネルに切り換わります。
- 本機の電源を入れた直後や、テレビ放送に切り換えた直後、チャンネルを切り換えた直後は、番組表の表示に時間がかかる場合があります。
- 番組を選び、[番組情報] を押すと番組の詳細情報が表示されます。
- 番組表データのないチャンネルは、表示されません。
- 地デジ設定メニューの［機器設定］-［番組表取得設定］において､「取得する」を設定すると、本機の電源が電源切（待機）状態中（赤色点灯）に、番組表データが更新されます。
- 電源プラグをコンセントから抜くと、取得した番組表データが消去されます。

● 番組の詳細な情報を見る［番組情報］

番組を見ているときや、番組表で番組を選んでいるときに、その番組の詳細な情報を画面に表示することができます。

(1) リモコンの 番組情報 を押します。
その番組の内容が表示されます。
番組詳細表示は約 15 秒後に自動的に消えます。



(2) 番組情報 を押して、操作を終了します。

注意点
- 放送局の都合により、番組が変更になることがあります。このようなときは、実際の放送と表示される内容が一致しないことがあります。

参考
- 番組を見ているときにリモコンの 画面表示 を押すと、その番組のタイトル、チャンネル番号、リモコンボタン、放送局名を画面に表示することができます。

● 字幕・文字スーパーの表示を設定する［字幕・文字スーパー］

デジタル放送で字幕放送サービスがおこなわれている場合は、画面に字幕を表示させることができます。また、ニュース速報など、視聴者にお知らせしたいことを番組放送中の画面上に文字で表示すること（文字スーパー）もできます。
複数の言語の字幕・文字スーパーがある場合は表示される言語を選択することができます。

設定	設定内容
字幕	「なし」/「第 1 言語」/「第 2 言語」
文字スーパー	「なし」/「第 1 言語」/「第 2 言語」

(1) 地デジ設定メニューの［機器設定］を選択します。
(2)［機器設定］メニューで［字幕・文字スーパー］を選択し、決定 を押します。
(3)［字幕・文字スーパー］メニューで［字幕］または［文字スーパー］を選択し、決定 を押します。
［字幕］または［文字スーパー］設定画面が表示されます。
(4) ▲ または ▼ で設定を選択し、決定 を押します。
設定を終了します。

参考
- 字幕表示のオン / オフはリモコンの 字幕 でも切り換えることができます。
字幕 を押すたびに「なし」→「第 1 言語（日本語）」→「第 2 言語（英語など）」と切り換わります。
- 番組によっては、第 2 言語の字幕がない場合もあります。

注意点
- 強制的に表示される字幕や文字スーパーなど、設定しても番組によって無効になる場合があります。

● 音声を切り換える［音声切換］

2 ヵ国語放送や多重音声放送を受信しているときは、音声を切り換えることができます。

(1) リモコンの 音声切換 を押します。
ボタンを押すたびに音声が切り換わります。
（例：「主音声」→「副音声」→「主音声＋副音声」）

注意点
- 地上デジタル放送では、切り換えられる音声の種類と数は番組により異なります。
- 音声の種類は、番組詳細表示（P.36）で確認できます。

参考
- 番組によっては「主音声」と「副音声」が同じ音声の場合があります。
- 「主音声」、「副音声」、「主音声＋副音声」の切り換えは、地デジ設定メニューの［機器設定］-［音声切換］設定でもできます。

第 4 章　調整と設定をする

4 - 1　カラー調整をする

カラーモードを選ぶ［カラーモード］

カラーモードを切り換えることにより、モニターの用途に応じた表示モードに設定できます。

カラーモードの種類

■ PC/HDMI（PC 信号）入力時

モード	イルミネーション※1	状　態
テキスト	緑	文書作成や表計算などの文字表示に適しています。
ピクチャー	マゼンタ	写真やイラストなどの画像表示に適しています。
ムービー	シアン	動画の再生に適しています。
Power（PC）	黄	ゲーム映像の表示に適しています。
カスタム（xxx ※2）	青	お好みの設定にすることができます。

※1 初期設定時の点灯色です。モードごとに点灯色を変更することもできます（P.38 参照）。
※2 そのとき選択している入力が表示されます。

■ VIDEO/HDMI（ビデオ信号）入力およびテレビ放送時

モード	イルミネーション※1	状　態
Power ※2	黄	メリハリのあるくっきりとした表示に設定されています。
ゲーム※2	マゼンタ	映像の暗部の階調表現を重視した表示に設定されています。
スタンダード	緑	標準的な映像表示に設定されています。
シネマ	シアン	映画などの映像に適した表示に設定されています。
カスタム（xxx ※3）	青	お好みの設定にすることができます。

※1 初期設定時の点灯色です。モードごとに点灯色を変更することもできます（P.38 参照）。
※2 VIDEO/HDMI（ビデオ信号）入力時のみ
※3 そのとき選択している入力が表示されます。

リモコンで設定する場合

(1) リモコンの［カラーモード］を押します。
［カラーモード］を押すたびに、モードが切り換わります。

設定メニューで設定する場合

(1) 設定メニューの［カラー調整］を選択し、（決定）を押します。
(2)［カラー調整］メニューで［カラーモード］を選択し、（決定）を押します。
［カラーモード］設定画面が表示されます。
(3)（<）または（>）でモードを選び、（決定）を押します。
設定が完了します。

● イルミネーション色を切り換える［イルミネーション］

画面表示時のイルミネーションの点灯色をカラーモードごとに変更することができます。

設定範囲：黄、シアン、緑、マゼンタ、青、オフ（消灯）

(1) 設定メニューの［カラー調整］を選択し、決定 を押します。
(2)［カラー調整］メニューで［カラーモード］を選択し、決定 を押します。
［カラーモード］設定画面が表示されます。
(3) < または > でイルミネーション色を変更したいカラーモードを選択します。
(4) v で［イルミネーション］を選択します。
(5) < または > で設定を選択し、決定 を押します。
設定が完了します。

参考
- 設定メニューの［本体設定］-［イルミネーション輝度］でイルミネーションの明るさを調整することもできます。

詳細な調整をする

カラーモードごとに独立したカラー調整の設定、保存ができます。

注意点
- 調整はモニターの電源を入れて、30 分以上経過してからおこなってください（内部の電気部品の動作が安定するのに約 30 分かかります。）。
- 入力によって設定できる機能が異なります（「設定メニュー項目一覧」P.71 参照）。
- アナログ信号のカラー調整をおこなうときは、最初にレンジ調整をおこなってください（「色階調を自動調整する［自動レンジ調整］」P.46 参照）。
- モニターにはそれぞれ個体差があるため、複数台を並べると同じ画像でも異なる色に見える場合があります。複数台の色を合わせるときは、視覚的に判断しながら微調整してください。

● ブライトネス（明るさ）を調整する［ブライトネス］

バックライト（液晶パネル背面の光源）の明るさを変化させて、画面の明るさを調整します。

調整範囲：0 ～ 100

(1) 設定メニューの［カラー調整］を選択し、決定 を押します。
(2)［カラー調整］メニューで［ブライトネス］を選択し、決定 を押します。
［ブライトネス］調整画面が表示されます。
(3) < または > で調整し、決定 を押します。
調整が完了します。

● 黒レベルを調整する［黒レベル］

映像の黒色の状態を調整します。

PC/HDMI（PC 信号）入力では、色を構成する赤、緑、青（RGB）個別の調整となり、VIDEO/HDMI（ビデオ信号）入力およびテレビ放送では RGB 一括の調整となります。

調整範囲：0 ～ 100

(1) 設定メニューの［カラー調整］を選択し、決定 を押します。
(2)［カラー調整］メニューで［黒レベル］を選択し、決定 を押します。
［黒レベル］調整画面が表示されます。
(3) < または > で調整し、決定 を押します。
調整が完了します。

参考
- 黒レベル調整後は、必要に応じてコントラストを再調整してください。

● コントラストを調整する［コントラスト］

映像信号のレベルを変化させて、画面の明るさを調整します。

調整範囲：0 ～ 100

(1) 設定メニューの［カラー調整］を選択し、決定 を押します。

(2)［カラー調整］メニューで［コントラスト］を選択し、決定 を押します。

［コントラスト］調整画面が表示されます。

(3) ＜ または ＞ で調整し、決定 を押します。

調整が完了します。

参 考

・50 ですべての色階調を表示します（PC 入力時のみ）。

・画面の明るさは、はじめに、階調特性を損なうことのないブライトネスで調整することをおすすめします。
コントラスト調整は以下のような場合に使用してください。
- ブライトネスが 100 でも画面が暗いと感じた時（コントラストを 50 以上に設定します）
- ブライトネスが 0 でも画面が明るいと感じた時（コントラストを 50 以下に設定します）

● 色の濃さを調整する［色の濃さ］

色の濃さを調整します。

調整範囲：-50 ～ 50

(1) 設定メニューの［カラー調整］を選択し、決定 を押します。

(2)［カラー調整］メニューで［色の濃さ］を選択し、決定 を押します。

［色の濃さ］調整画面が表示されます。

(3) ＜ または ＞ で調整し、決定 を押します。

調整が完了します。

注意点

・本機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。

● 色合いを調整する［色合い］

色合いを調整します。値を高くすると緑がかった色になり、値を低くすると紫がかった色になります。

調整範囲：-50 ～ 50

(1) 設定メニューの［カラー調整］を選択し、決定 を押します。

(2)［カラー調整］メニューで［色合い］を選択し、決定 を押します。

［色合い］調整画面が表示されます。

(3) ＜ または ＞ で調整し、決定 を押します。

調整が完了します。

注意点

・本機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。

● 色温度を調整する［色温度］

色温度を調整します。

通常「白」または「黒」の色合いを数値的に表現するときに用いられるもので、K：Kelvin（ケルビン）という単位で表します。

炎の温度と同様に、画面は温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。また、色温度の設定値ごとにゲインのプリセット値が設定されています。

5000K	やや赤みがかかった色です。印刷業界では一般的に 5000K や 6500K が使われています。
6500K	暖色で紙色に近い色調で、写真やビデオ画像の表示に適した色調とされています。
9300K	やや青みがかかった白色です。

調整範囲： オフ、4000K、5000K、6500K、8000K、9300K、10500K、12000K

(1) 設定メニューの［カラー調整］を選択し、決定 を押します。

(2)［カラー調整］メニューで［色温度］を選択し、決定 を押します。

［色温度］調整画面が表示されます。

(3) ＜ または ＞ で調整し、決定 を押します。

調整が完了します。

参 考

・「K」表示は調整の目安としてご利用ください。

・［ゲイン］でさらに詳細な調整が可能です（「ゲインを調整する［ゲイン］」P.41 参照）。

・「オフ」でパネル本来の色（ゲインの値は RGB 各 100）になります。

・ゲインの値を変更すると、色温度は「オフ」になります。

● 自動明るさ調整の設定を切り換える［Auto EcoView］

モニター下部のセンサーが検知した周囲の明るさと、表示映像の明るさに応じて、自動的に画面の明るさを調整します。

設定範囲： 標準、強、無効

(1) 設定メニューの［カラー調整］を選択し、決定を押します。
(2)［カラー調整］メニューで［詳細設定］を選択し、決定を押します。
(3)［詳細設定］メニューで［Auto EcoView］を選択し、決定を押します。
［Auto EcoView］設定画面が表示されます。
(4) ＜または＞で「標準」/「強」/「無効」を選択し、決定を押します。
設定が完了します。

参考

- Auto EcoView 機能を使用する場合は、センサーをふさがないように注意してください。
- 「標準」の設定で画面が明るく感じるときに「強」にしてください。

● 自動コントラスト調整の有効 / 無効を切り換える［コントラスト拡張］

暗いシーンの時にバックライトを制御して、自動的に映像のコントラスト感を調整する / しないの切り換えができます。

(1) 設定メニューの［カラー調整］を選択し、決定を押します。
(2)［カラー調整］メニューで［詳細設定］を選択し、決定を押します。
(3)［詳細設定］メニューで［コントラスト拡張］を選択し、決定を押します。
［コントラスト拡張］設定画面が表示されます。
(4) ＜または＞で「有効」または「 無効」を選択し、決定を押します。
設定が完了します。

● 映像の輪郭を補正する［輪郭補正］

輪郭の強調度合いを調整します。

調整範囲：-5 ～ 5

(1) 設定メニューの［カラー調整］を選択し、決定を押します。
(2)［カラー調整］メニューで［詳細設定］を選択し、決定を押します。
(3)［詳細設定］メニューで［輪郭補正］を選択し、決定を押します。
［輪郭補正］調整画面が表示されます。
(4) ＜または＞で調整し、決定を押します。
調整が完了します。

● ガンマを調整する［ガンマ］

ガンマ値を調整します。モニターは入力される信号によって明るさが変化しますが、この変化率は入力信号と単純な比例関係にありません。そのため入力信号と明るさの関係が一定の関係になるよう制御をおこなうことをガンマ補正といいます。

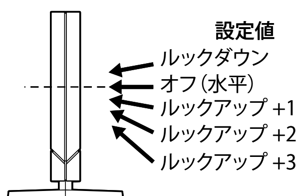
調整範囲：1.8、2.0、2.2、2.4、2.6、2.8

(1) 設定メニューの［カラー調整］を選択し、決定を押します。
(2)［カラー調整］メニューで［詳細設定］を選択し、決定を押します。
(3)［詳細設定］メニューで［ガンマ］を選択し、決定を押します。
［ガンマ］調整画面が表示されます。
(4) ＜または＞で調整し、決定を押します。
調整が完了します。

● 視聴角度を切り換える［リラックスモード］

画面を正面以外の位置（上または下）から見るような場合に、視聴角度を調整し正面からの見えかたに近づけます。

設定範囲：ルックダウン、オフ、ルックアップ＋ 1/ ＋ 2/ ＋ 3



(1) 設定メニューの［カラー調整］を選択し、決定 を押します。
(2)［カラー調整］メニューで［詳細設定］を選択し、決定 を押します。
(3)［詳細設定］メニューで［リラックスモード］を選択し、決定 を押します。
［リラックスモード］設定画面が表示されます。
(4) ＜ または ＞ で設定を選択し、決定 を押します。
設定が完了します。

注意点
- 視聴角度によっては、設定を切り換えることによって画面が見えにくくなる場合もあります。

参 考
- リラックスモードはリモコンの リラックスモード でも切り換えることができます。

● 赤･緑･青（RGB）のバランスを微調整する［RGB バランス］

赤、緑、青をそれぞれ調整し、好みの色調にします。

調整範囲：-3 ～ 3

(1) 設定メニューの［カラー調整］を選択し、決定 を押します。
(2)［カラー調整］メニューで［詳細設定］を選択し、決定 を押します。
(3)［詳細設定］メニューで［RGB バランス］を選択し、決定 を押します。
［RGB バランス］調整画面が表示されます。
(4) 赤、緑、青それぞれの値を ＜ または ＞ で調整し、決定 を押します。
調整が完了します。

注意点
- ［RGB バランス］は、VIDEO/HDMI（ビデオ信号）入力およびテレビ放送時にのみ設定できます。

参 考
- 設定をすべて「0」にすると、「標準」の状態となります。

● ゲインを調整する［ゲイン］

色を構成する赤、緑、青（RGB）のそれぞれの明るさをゲインと呼びます。これを調整することで、「白」の色調を変更することができます。

調整範囲：0 ～ 100

(1) 設定メニューの［カラー調整］を選択し、決定 を押します。
(2)［カラー調整］メニューで［詳細設定］を選択し、決定 を押します。
(3)［詳細設定］メニューで［ゲイン］を選択し、決定 を押します。
［ゲイン］調整画面が表示されます。
(4) 赤、緑、青それぞれの値を ＜ または ＞ で調整し、決定 を押します。
調整が完了します。

注意点
- ［ゲイン］は、PC/HDMI（PC 信号）入力時にのみ設定できます。

● 映像のノイズを軽減する［ノイズフィルタ］

細かいノイズや MPEG 圧縮時のノイズを軽減します。

設定範囲：無効、強、弱

(1) 設定メニューの［カラー調整］を選択し、決定 を押します。
(2)［カラー調整］メニューで［詳細設定］を選択し、決定 を押します。
(3)［詳細設定］メニューで［ノイズフィルタ］を選択し、決定 を押します。
［ノイズフィルタ］設定画面が表示されます。
(4) ＜ または ＞ で「無効」/「強」/「弱」を選択し、決定 を押します。
設定が完了します。

注意点
- ［ノイズフィルタ］は、VIDEO/HDMI（ビデオ信号）入力およびテレビ放送時にのみ設定できます。
- 設定によっては画面が見づらくなる場合があります。

● I/P 変換の処理方法を設定する［I/P 変換］

I/P（インターレース - プログレッシブ）変換の処理方法を設定します。

設定	状　態
動画（2-3）	毎秒 60 コマで記録された映像信号と映画フィルムなどの毎秒 24 コマで記録された映像信号を自動的に判別して、それぞれに適した変換処理をおこないます。ほとんどの映像信号において最適な設定です。
動画（2-3/2-2）	「動画（2-3）」に加えて、CG やアニメーションなどの毎秒 30 コマで記録された映像信号に対しても自動判別をおこない、最適な変換処理をおこないます。
動画	24 コマ /30 コマに対する変換処理をおこないません。「動画（2-3）」または「動画（2-3/2-2）」で映像信号の動きが気になる場合に設定すると、症状が改善される場合があります。
静止画	動きの少ない映像信号でちらつきが気になるときに設定すると、症状が改善される場合があります。

(1) 設定メニューの［カラー調整］を選択し、決定 を押します。
(2)［カラー調整］メニューで［詳細設定］を選択し、決定 を押します。
(3)［詳細設定］メニューで［I/P 変換］を選択し、決定 を押します。
［I/P 変換］設定画面が表示されます。
(4) ＜ または ＞ で設定を選択し、決定 を押します。
設定が完了します。

注意点

- ［I/P 変換］は、VIDEO/HDMI（ビデオ信号）入力およびテレビ放送時にのみ設定できます。
- スルーモード（P.57）が「オン」に設定されていると、［I/P 変換］の設定はできません。

● 倍速モードの設定をおこなう

本機は､通常の表示コマ数を 2 倍に変換して表示することができます（例えば、入力信号が 60Hz の場合、通常は毎秒 60 コマで画面が表示されますが、2 倍の 120 コマに変換して画面を表示します。）。2 倍に変換して表示すると、残像の少ないくっきりした映像となります。

■倍速モードの有効 / 無効を切り換える［倍速モード］

PC/HDMI（PC 信号）入力時は、コマ数を 2 倍に変換する / しないを選択することができます。
動画やゲーム画面を表示する場合は「有効」に、静止画を表示する場合は「無効」に設定することをおすすめします。

(1) 設定メニューの［画面調整］を選択し、決定 を押します。
(2)［画面調整］メニューで［倍速モード］を選択し、決定 を押します。
［倍速モード］設定画面が表示されます。
(3) ＜ または ＞ で「有効」または「無効」を選択し、決定 を押します。
設定が完了します。

注意点

- VIDEO/HDMI（ビデオ信号）入力およびテレビ放送時は、常にコマ数を 2 倍に変換して映像を表示します。
- ［倍速モード］は、カラーモード共通の設定となります。

■倍速モードの設定を切り換える［倍速モード切換］

コマ数を 2 倍に変換するときの補間方法を選択することができます。

<table>
<tr><th>設定</th><th>状　態</th></tr>
<tr><td>標準</td><td>コマ間の補間フレームを生成して動画のブレを軽減し、なめらかな映像を再現します。
※通常は「標準」を選択してください。「標準」の状態でも、動画のブレが気になるときに「強調」に設定してみてください。ただし、「標準」に比べてノイズが多く見られることがあります。</td></tr>
<tr><td>強調</td><td></td></tr>
<tr><td>5-5/4-4</td><td>補間フレームを生成せず、同じフレームを繰り返して 24Hz 表示とする（毎秒 24 コマで表示しているように見せる）ことで、映画などのフィルム映像を原画に忠実に再現します。</td></tr>
<tr><td>遅延軽減</td><td>補間フレームを生成せず、直前と同じフレームを繰り返して表示することで、映像表示時の遅延を最小にします。</td></tr>
</table>

(1) 設定メニューの［カラー調整］を選択し、決定 を押します。
(2)［カラー調整］メニューで［詳細設定］を選択し、決定 を押します。
(3)［詳細設定］メニューで［倍速モード切換］を選択し、決定 を押します。
　［倍速モード切換］設定画面が表示されます。
(4) ＜ または ＞ で設定を選択し、決定 を押します。
　設定が完了します。

［スムーズ再生］

［倍速モード切換］の設定が「標準」/「強調」の場合に、映画などのフィルム映像をよりなめらかに表示することができます。

設定	状　態
2-3/2-2	フィルム映像や CG、アニメーションなどの映像信号を自動判別し、最適な補間処理をおこないます。
2-3	フィルム映像に対して、最適な補間処理をおこないます。
オフ	通常の補間処理（コマ間の補間フレームを 1 コマ生成する）をおこないます。

(1) ∨ で［スムーズ再生］を選択します。
(2) ＜ または ＞ で設定を選択し、決定 を押します。
　設定が完了します。

■倍速デモ表示をおこなう［倍速デモ］

右側に入力映像のコマ数そのままの映像、左側にコマ数を 2 倍にした映像を表示し、画面最下部に右から左へスクロールする文字を表示します。

(1) 設定メニューの［本体設定］を選択し、決定 を押します。
(2)［本体設定］メニューで［倍速デモ］を選択し、決定 を押します。
(3) ＜ または ＞ で「はい」を選択し、決定 を押します。
　デモモード画面に切り換わります。
　設定 または 終了 または 戻る を押すと、デモモードが解除されます。

注意点

- PC/HDMI（PC 信号）入力時、［倍速モード］が「無効」設定されていると［倍速モード切換］の設定はできません。
- スルーモード（P.57）が「オン」に設定されていると、［倍速モード切換］の設定はできません（「遅延軽減」に固定されます。）。

参 考

- ゲーム使用時など、映像表示までの反応時間を早くしたい場合は、「遅延軽減」に設定してください。

4-2　画面の調整をする

PC1 入力の場合（デジタル信号入力時）

本機の設定データに基づいて画面が正しく表示されます。画面の調整をする必要はありません。

PC2 入力の場合（アナログ信号入力時）

モニターの画面調整とは、使用するコンピュータに合わせ、画面のちらつきを抑えたり画像の表示位置やサイズを正しく調整するためのものです。

以下の場合には自動画面調整機能が働きます。
- モニターに初めて信号を入力した場合
- これまでに表示したことのない解像度や垂直周波数、水平周波数に変更した場合

自動画面調整機能実行後も、画面が正確に表示されていない場合は、快適に使用していただくために、以下の調整手順に従って画面の調整をしてください。

注意点
- 調整はモニターの電源を入れて、30 分以上経過してからおこなってください。
- 以下の場合には自動画面調整機能は働きません。
  - VGA など低解像度の信号の場合
  - 入力信号が 720p/1080p の場合

［調整手順］

1　自動画面調整をします。

● **画面のちらつき・表示位置・サイズを自動調整する［自動画面調整］**

(1) 設定メニューの［画面調整］を選択し、(決定) を押します。
(2)［画面調整］メニューで［自動画面調整］を選択し、(決定) を押します。
(3) (<) または (>) で「はい」を選択し、(決定) を押します。
自動画面調整機能が働き、画面のちらつき・表示位置・サイズが正しく調整されます。

1 の手順を実行しても画面が正確に表示されていない場合は以降の手順に従って調整をおこなってください。正確に表示された場合は、手順 5 の「色階調を自動調整する［自動レンジ調整］」にお進みください。

注意点
- この機能は画面の表示可能エリア全体に画像が表示されている場合に正しく動作します。コマンドプロンプトのような画面の一部にしか画像が表示されていない場合や、壁紙など背景を黒で使用している場合には正しく動作しません。
- 一部のグラフィックスボードで正しく動作しない場合があります。

参 考
-「入力信号の解像度を選択してください。」というメッセージが表示された場合は、コンピュータ側で設定した解像度を選択して (決定) を押してください。

2　アナログ画面調整用のパターンを準備します。

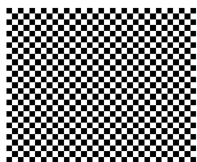
当社ホームページ（http://www.eizo.co.jp）から「画面調整パターン集」をダウンロードしてください。

参 考
-「画面調整パターン集」の開きかたおよび内容については、ダウンロードした Readmeja.txt ファイルを参照してください。

3 アナログ画面調整用のパターンを表示して、再度自動画面調整をします。

● 画面のちらつき・表示位置・サイズを自動調整する［自動画面調整］

(1) 画面調整パターン集のパターン 1 を画面全体に表示します。



(2) 設定メニューの［画面調整］を選択し、決定 を押します。

(3)［画面調整］メニューで［自動画面調整］を選択し、決定 を押します。

(4) < または > で「はい」を選択し、決定 を押します。
自動画面調整機能が働き、画面のちらつき・表示位置・サイズが正しく調整されます。

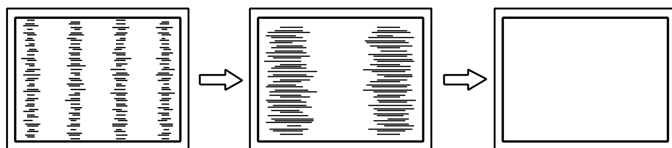
> 3 の手順を実行しても画面が正確に表示されていない場合は以降の手順に従って調整をおこなってください。正確に表示された場合は、手順 5 の「色階調を自動調整する［自動レンジ調整］」にお進みください。

4 設定メニューの［画面調整］メニューで詳細な調整をします。

● 縦縞を消す［クロック］

(1)［画面調整］メニューで［クロック］を選択し、決定 を押します。
［クロック］調整画面が表示されます。

(2) < または > で縦縞が消えるように調整し、決定 を押します。
調整が完了します。



注意点

- ［自動画面調整］は、［倍速モード］設定（P.42）を「無効」にしてからおこなってください。「有効」に設定されていると、コマ間の補完フレームを生成するため画像が乱れる場合があります。

参 考

- 調整が合ったポイントを見逃しやすいので、コントロールボタンはゆっくり押して調整するようにしてください。
- 調整後、画面全体ににじみやちらつき、横線が出た場合は次の「ちらつきやにじみをとる［フェーズ］」にすすみ調整をおこなってください。

● ちらつきやにじみをとる［フェーズ］

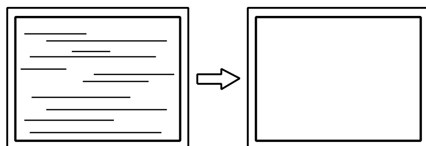
調整範囲：0 ～ 63

(1)［画面調整］メニューで［フェーズ］を選択し、(決定) を押します。

［フェーズ］調整画面が表示されます。

(2) (<) または (>) で最もちらつきやにじみのない画面に調整し、(決定) を押します。

調整が完了します。



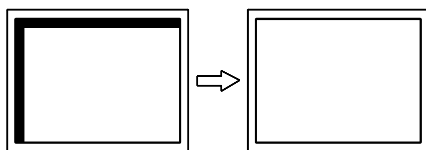
● 表示位置のずれを直す［ポジション］

(1)［画面調整］メニューで［ポジション］を選択し、(決定) を押します。

［ポジション］調整画面が表示されます。

(2) 画面の位置が合うように (∧) / (∨) / (<) / (>) で調整し、(決定) を押します。

調整が完了します。

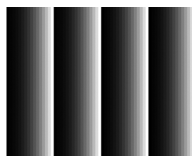


5 色階調を調整します。

● 色階調を自動調整する［自動レンジ調整］

信号の出力レベルを調整し、すべての色階調（0 ～ 255）を表示できるように調整できます。

(1) 画面調整パターン集のパターン 2 を画面全体に表示します。



(2)［画面調整］メニューで［自動レンジ調整］を選択し、(決定) を押します。

(3) (<) または (>) で「はい」を選択し、(決定) を押します。

出力レンジが自動的に調整されます。

(4) パターン 2 を閉じます。

注意点

- お使いのコンピュータやグラフィックスボードによっては、完全になくならないものがあります。

参考

- 調整後、画面に縦縞が現れた場合は、「縦縞を消す［クロック］」に戻り、再度調整をおこなってください（クロック→フェーズ→ポジション）。

参考

- 液晶モニターは画素数および画素位置が固定であるため、画像の正しい表示位置は 1 箇所所です。ポジション調整とは画像を正しい位置に移動するための調整です。

VIDEO 入力の場合

● ちらつきやにじみをとる［フェーズ］

調整範囲：0 ～ 63

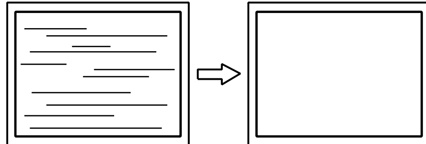
(1) 設定メニューの［画面調整］を選択し、決定 を押します。

(2)［画面調整］メニューで［フェーズ］を選択し、決定 を押します。

［フェーズ］調整画面が表示されます。

(3) ＜ または ＞ で最もちらつきやにじみのない画面に調整し、決定 を押します。

調整が完了します。



● 表示位置のずれを直す［ポジション］

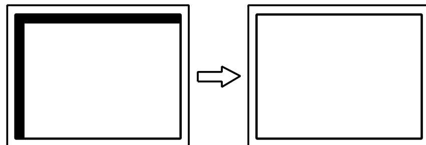
(1) 設定メニューの［画面調整］を選択し、決定 を押します。

(2)［画面調整］メニューで［ポジション］を選択し、決定 を押します。

［ポジション］調整画面が表示されます。

(3) 画面の位置が合うように ∧ / ∨ / ＜ / ＞ で調整し、決定 を押します。

調整が完了します。



注意点

- ［フェーズ］は、コンポーネント（D 端子）入力時にのみ設定できます。

参 考

- 液晶モニターは画素数および画素位置が固定であるため、画像の正しい表示位置は 1 箇所です。ポジション調整とは画像を正しい位置に移動するための調整です。

HDMI（PC 信号）入力の場合

● HDMI 入力に接続した機器を設定する［接続機器］

HDMI 入力にコンピュータを接続して PC 信号を入力する場合は、「PC」に設定します。

設定範囲：DVD/ ビデオ、PC

(1) 設定メニューの［画面調整］を選択し、(決定) を押します。
(2)［画面調整］メニューで［接続機器］を選択し、(決定) を押します。
［接続機器］設定画面が表示されます。
(3) (<) または (>) で「PC」を選択し、(決定) を押します。
設定が完了します。

注意点
- PC 信号とビデオ信号では設定 / 調整内容が異なりますので、必ず［接続機器］設定をおこなってください。

HDMI（ビデオ信号）入力の場合

● HDMI 入力に接続した機器を設定する［接続機器］

HDMI 入力に AV 機器を接続してビデオ信号を入力する場合は、「DVD/ ビデオ」に設定します。

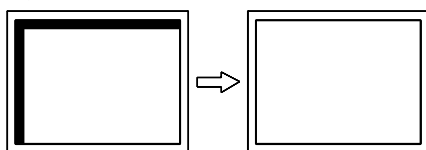
設定範囲：DVD/ ビデオ、PC

(1) 設定メニューの［画面調整］を選択し、(決定) を押します。
(2)［画面調整］メニューで［接続機器］を選択し、(決定) を押します。
［接続機器］設定画面が表示されます。
(3) (<) または (>) で「DVD/ ビデオ」を選択し、(決定) を押します。
設定が完了します。

注意点
- PC 信号とビデオ信号では設定 / 調整内容が異なりますので、必ず［接続機器］設定をおこなってください。

● 表示位置のずれを直す［ポジション］

(1) 設定メニューの［画面調整］を選択し、(決定) を押します。
(2)［画面調整］メニューで［ポジション］を選択し、(決定) を押します。
［ポジション］調整画面が表示されます。
(3) 画面の位置が合うように (∧) / (∨) / (<) / (>) で調整し、(決定) を押します。
調整が完了します。



注意点
- ［ポジション］は、ビデオ信号入力時にのみ設定できます。

参考
- 液晶モニターは画素数および画素位置が固定であるため、画像の正しい表示位置は 1 箇所です。ポジション調整とは画像を正しい位置に移動するための調整です。

4-3　音声を調整する

● 音声の出力先を選択する［出力選択］

音声の出力先を選択します。

設定範囲：スピーカー、ラインアウト

(1) 設定メニューの［サウンド設定］を選択し、（決定）を押します。
(2)［サウンド設定］メニューで［出力選択］を選択し、（決定）を押します。
［出力選択］設定画面が表示されます。
(3) （<）または（>）で設定を選択し、（決定）を押します。
設定が完了します。

● 左右の音量バランスを調整する［バランス］

左右の音量バランスを調整します。

調整範囲：-6 ～ 6

(1) 設定メニューの［サウンド設定］を選択し、（決定）を押します。
(2)［サウンド設定］メニューで［スピーカー調整］または［ヘッドホン調整］を選択し、（決定）を押します。
(3)［スピーカー調整］または［ヘッドホン調整］メニューで［バランス］を選択し、（決定）を押します。
［バランス］調整画面が表示されます。
(4) （<）または（>）で調整し、（決定）を押します。
調整が完了します。

● 高音 / 低音を調整する［高音］/［低音］

高音域 / 低音域の強弱を調整します。

調整範囲：-6 ～ 6

(1) 設定メニューの［サウンド設定］を選択し、（決定）を押します。
(2)［サウンド設定］メニューで［スピーカー調整］または［ヘッドホン調整］を選択し、（決定）を押します。
(3)［スピーカー調整］または［ヘッドホン調整］メニューで［高音］または［低音］を選択し、（決定）を押します。
［高音］または［低音］調整画面が表示されます。
(4) （<）または（>）で調整し、（決定）を押します。
調整が完了します。

注意点

- 「ラインアウト」を選択すると、本機のスピーカーから音声が出力されなくなります。
- 「ラインアウト」を選択した場合は次の点に注意してください。
  - オーディオ機器の音量に注意してください。
  - 音量や音声の調整はオーディオ機器側でおこなってください。
- ヘッドホン端子にヘッドホンを接続すると、本機のスピーカーやオーディオ機器から音声が出力されなくなります。

参 考

- ［バランス］、［高音］、［低音］調整は、スピーカーとヘッドホンで個別に調整できます。

注意点

- 音声の設定によっては、音がひずむ場合があります。その際は、音量を下げてみてください。ひずみが解消されることがあります。

● バーチャル 5.1ch サラウンドの設定を切り換える［Virtual 5.1ch Surround］

ヘッドホン使用時に、バーチャル 5.1ch サラウンド再生が可能になります。迫力と臨場感のある音声を楽しむ場合にご利用ください。設定は用途に応じて選択することができます。

設定	状　態
無効	サラウンド効果を無効にします。
ゲーム 1	音の発生位置が分かりやすいモードです。 主人公視点のシューティングゲーム（FPS）など、音で位置情報を判断するゲームをより楽しめるモードです。
ゲーム 2	音の残響効果を加えたモードです。 臨場感が増すため、アドベンチャーゲームやロールプレイングゲームなどに適しています。
ムービー	より長めの残響効果や低音の強調をおこない、映画などを迫力ある音響で楽しめるモードです。

(1) 設定メニューの［サウンド設定］を選択し、決定 を押します。
(2)［サウンド設定］メニューで［ヘッドホン調整］を選択し、決定 を押します。
(3)［ヘッドホン調整］メニューで［Virtual 5.1ch Surround］を選択し、決定 を押します。
［Virtual 5.1ch Surround］設定画面が表示されます。
(4) < または > で設定を選択し、決定 を押します。
設定が完了します。

注意点
- 接続機器によっては、本設定をおこなうと異音が発生する場合があります。その場合は次の操作をおこなってみてください。
  - ［Virtual 5.1ch Surround］の設定を変更する
  - ［音声レベル］の設定を下げる
  - 接続機器側で音量を下げる（機器側で音量が調節できる場合）

● 音声のレベルを調整する［音声レベル］

入力する音声のレベルを調整します。
外部機器の平均的な音声レベルが異なるため、入力によって音量差が生じることがあります。レベルを調整することで、音量差を軽減することができます。

調整範囲：-3 ～ 3

(1) 音量レベルを調整したい入力に切り換えます。
(2) 設定メニューの［サウンド設定］を選択し、決定 を押します。
(3)［サウンド設定］メニューで［音声レベル］を選択し、決定 を押します。
［音量レベル］調整画面が表示されます。
(4) < または > で調整し、決定 を押します。
調整が完了します。

参 考
- 例えば、VIDEO1 と VIDEO2 で音量差が大きくなったときは、音量が小さいほうの音声レベルの設定を上げると、音量差を軽減できます。

● HDMI 入力の音源を設定する［音源］

HDMI 入力で、音声信号を HDMI 端子以外の端子から入力する場合に設定します。

設定範囲：HDMI、PC1、PC2、VIDEO1、VIDEO2

(1) 設定メニューの［サウンド設定］を選択し、(決定) を押します。
(2)［サウンド設定］メニューで［音源］を選択し、(決定) を押します。
［音源］設定画面が表示されます。
(3) (<) または (>) で設定を選択し、(決定) を押します。
設定が完了します。

4 - 4　省電力の設定をおこなう

● 無操作時の自動電源オフの有効 / 無効を切り換える［無操作電源オフ］

リモコンや本体のボタン操作がない状態が 3 時間続いた時に、モニターの電源を自動的に切る / 切らないの切り換えができます。

(1) 設定メニューの［PowerManager］を選択し、(決定) を押します。
(2)［PowerManager］メニューで［無操作電源オフ］を選択し、(決定) を押します。
［無操作電源オフ］設定画面が表示されます。
(3) (<) または (>) で「有効」または「無効」を選択し、(決定) を押します。
設定が完了します。

注意点
- 主電源スイッチを切るか、電源プラグを抜くことで、確実にモニター本体への電源供給は停止します。

参 考
- 電源が切れる 1 分前になると、「まもなく電源が切れます。」と表示されます（電源を切りたくないときは、リモコンまたは本体ボタンを操作してください。）。

● 無信号時の自動電源オフの有効 / 無効を切り換える［無信号電源オフ］

ビデオ信号の入力がない状態およびテレビの放送がない（信号がない）状態が 15 分続いた時に、モニターの電源を自動的に切る / 切らないの切り換えができます。

(1) 設定メニューの［PowerManager］を選択し、(決定) を押します。
(2)［PowerManager］メニューで［無信号電源オフ］を選択し、(決定) を押します。
［無信号電源オフ］設定画面が表示されます。
(3) (<) または (>) で「有効」または「無効」を選択し、(決定) を押します。
設定が完了します。

注意点
- ［無信号電源オフ］は、VIDEO/HDMI（ビデオ信号）入力およびテレビ放送でのみ有効です。

参 考
- 電源が切れる 1 分前になると、「まもなく電源が切れます。」と表示されます。

● モニターの省電力モードの有効 / 無効を切り換える［パワーセーブ（PC）］

コンピュータの状態と連動してモニターを省電力モードにする / しないの切り換えができます。

■デジタル信号入力の場合

「DVI DMPM」に準拠しています。

［省電力の流れ］

コンピュータの設定に連動し 5 秒後に省電力モードに入ります。

コンピュータの状態	モニターの状態	イルミネーション
オン	オペレーションモード	現在選択しているカラーモードのイルミネーション色（P.37）
省電力モード	省電力モード	橙

■アナログ信号入力の場合

「VESA DPMS」に準拠しています。

［省電力の流れ］

コンピュータの状態		モニターの状態	イルミネーション
オン		オペレーションモード	現在選択しているカラーモードのイルミネーション色（P.37）
省電力モード	スタンバイ サスペンド オフ	省電力モード	橙

(1) 設定メニューの［PowerManager］を選択し、決定を押します。

(2)［PowerManager］メニューで［パワーセーブ（PC）］を選択し、決定を押します。
［パワーセーブ（PC）］設定画面が表示されます。

(3) ＜または＞で「有効」または「無効」を選択し、決定を押します。
設定が完了します。

注意点

- ［パワーセーブ（PC）］は、PC/HDMI（PC 信号）入力でのみ有効です。

参 考

- 省電力モードから復帰させるときは以下の操作をおこないます。
  - キーボードまたはマウスを操作する
  - リモコンの電源以外のボタンまたは本体操作ボタンの POWER 以外のボタンを押す

4 - 5 モニターの電源を自動的に切る

モニターの電源を自動的に切るまでの時間を設定できます。

設定範囲：無効、30、60、90、120、150、180 分

(1) リモコンのオフタイマーを押します。
オフタイマーを押すたびに、設定時間が切り換わります。

■オフタイマーを解除する

(1)「無効」が表示されるまで、オフタイマーを押します。

■残り時間を確認する

(1) オフタイマーの設定中に、オフタイマーを押します。
電源が切れるまでの時間が表示されます。

■オフタイマー時間を延長する

(1) 残り時間の表示中に、オフタイマーを押します。
オフタイマーを押すたびに、時間が延長されます。

参 考

- 電源が切れる 1 分前になると、「まもなく電源が切れます。」と表示されます（電源を切りたくないときは、オフタイマーで「無効」を選択してください。）。
- 電源を切ったときにも、オフタイマーが解除されます。
- 残り時間は、秒を切り捨てた分単位で表示されます。

4 - 6　画面サイズを切り換える

本機はさまざまな入力映像に対して画面サイズを変更することができます。

設定＼入力信号	PC/HDMI（PC 信号）	VIDEO/HDMI（ビデオ信号）※1	テレビ放送※2
画面サイズ（画面サイズ）	フルスクリーン 拡大	4：3 4：3 Zoom1 4：3 Zoom2 16：9	4：3 フル ズーム
表示率（[表示率] / [放送表示モード]）	-	標準 フル	
画面サイズ（ゲーム サイズ）	ノーマル	ポータブル リアル アスペクト 4：3 アスペクト 16：9	-
表示率（[拡大]）	-	1 × 2 × ジャスト	-
参照ページ	P.53	P.54	P.56

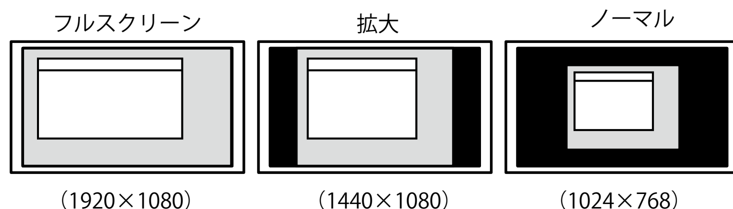
※1 入力信号のアスペクト情報に応じて自動で画面サイズを切り換えることもできます（「自動切換の有効 / 無効を切り換える [画面サイズ自動切換]」P.54 参照)。

※2 放送が 480i（4：3 の画面）以外の場合は、「16：9」の画面サイズに固定されます。

PC/HDMI（PC 信号）入力時

設定	状　態
フルスクリーン	画面全体に画像を表示します。ただし、拡大比率は縦・横一定ではないため、表示画像に歪みが見られる場合があります。
拡大	画面全体に画像を表示します。ただし、拡大比率を縦・横一定にするため、水平・垂直のどちらかの方向に画像が表示されない部分が残る場合があります。
ノーマル	入力信号の解像度のままの大きさで表示します。

例：1024 × 768 を表示した場合



■「フルスクリーン / 拡大」に切り換える

(1) リモコンの 画面サイズ を押します。

画面サイズ を押すたびに、サイズが切り換わります。

■ノーマルに切り換えるとき

(1) リモコンの サイズ を押します。

注意点

- HDMI（PC 信号）入力時、［画面調整］メニューの［接続機器］設定（P.48）が「DVD/ ビデオ」に設定されていると、画面サイズが「フルスクリーン」に固定され、切り換えることができません。

VIDEO/HDMI（ビデオ信号）入力時

● 自動切換の有効 / 無効を切り換える［画面サイズ自動切換］

AV 機器からの入力信号のアスペクト情報に応じて、自動で画面サイズを切り換える / 切り換えないの設定ができます。

(1) 設定メニューの［画面調整］を選択し、(決定) を押します。
(2)［画面調整］メニューで［画面サイズ自動切換］を選択し、(決定) を押します。
［画面サイズ自動切換］設定画面が表示されます。
(3) (<) または (>) で「有効」または「無効」を選択し、(決定) を押します。
設定が完了します。

参考
- 初期設定は「有効」となっています。画面サイズを自動で切り換えたくない場合は、設定を「無効」にしてください。
- 画面サイズは、自動で切り換えられた後、手動で切り換えることもできます。

● 手動で切り換える

■ ゲーム以外の画面を表示しているとき

［画面サイズ］

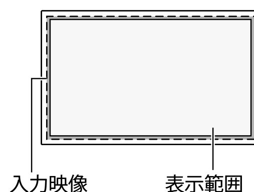
設定	状　態	入力信号　→　画面の見えかた（アスペクト比）
4：3	4：3 の画面で表示します。画面の左右に黒帯が表示されます。16：9 サイズの映像は横に圧縮されます。	（4：3）
4：3 Zoom1	16：9 のレターボックスを画面全体に表示します。レターボックス以外は映像の上下が一部切れます。	（16：9 レターボックス）
4：3 Zoom2	14：9 のレターボックスを画面中央に表示します。画面の左右に黒帯が表示されます。レターボックス以外は映像の上下が一部切れます。	（14：9 レターボックス）
16：9	16：9 の画面で表示します。4：3 サイズの映像は横に広がります。	（16：9）

注意点
- 入力信号が 1080i/720p/1080p の場合は、「16：9」に固定されます。

［表示率］

画面は通常、入力映像の上下左右の一部を切り取って表示されています（オーバースキャン）。画面サイズとは別に、この入力映像の表示範囲を切り換えることができます。

（例：「16：9」のとき）



設定	状　態
標準	通常の表示（入力映像の上下左右の一部を切り取った状態）で画面を表示します。
フル	入力映像のほぼすべてを画面に表示します。

参考
- 「フル」を選択すると、画面周辺部にノイズが見える場合があります。その場合には「標準」を選択してください。

(1) リモコンの (画面サイズ) を押します。
［画面サイズ］設定画面が表示されます。
(2) (<) または (>) で設定を選択します。
(3) (∨) で［表示率］を選択します。
(4) (<) または (>) で設定を選択し、(決定) を押します。
設定が完了します。

■ ゲーム画面を表示しているとき

［画面サイズ］

設定	状　　態	入力信号　→　画面の見えかた（アスペクト比）
ポータブル	プレイステーション・ポータブルの画像を表示するときに選択します。	（レターボックス）［ゲーム画面］
リアル	入力信号の解像度のままの大きさで表示します。	（4：3）
アスペクト 4：3	入力信号の垂直解像度を基準にして、4：3 の画面で表示します。	（4：3）
アスペクト 16：9	入力信号の垂直解像度を基準にして、16：9 の画面で表示します。	（4：3）

［拡大］

入力信号が NTSC/PAL/PAL-60 および 480i/480p/576i/576p の場合は、画面の拡大比率を切り換えることもできます。

設定	状　　態
1 ×	選択した画面サイズをそのまま表示します。
2 ×	選択した画面サイズを縦横比 2 倍で表示します。
ジャスト	アスペクト比を保ったまま画面全体に表示します。

(1) リモコンの サイズ を押します。
［画面サイズ］設定画面が表示されます。
(2) ＜ または ＞ で設定を選択します。
(3) ∨ で［拡大］を選択します。
(4) ＜ または ＞ で設定を選択し、決定 を押します。
設定が完了します。

注意点
- 入力信号が 1080i/720p/1080p の場合は､「リアル」に固定されます。
- HDMI（ビデオ信号）入力時、［画面調整］メニューの［接続機器］設定（P.48）が「PC」に設定されていると、画面サイズが「ノーマル」に固定され、切り換えることができません。

注意点
- 「ポータブル」選択時は、［拡大］を設定できません。

テレビ放送時

［画面サイズ］

放送が 480i（4：3 の画面）の場合に、画面サイズを切り換えることができます。

設定	状　態	入力信号　→　画面の見えかた（フォーマット）
4：3	4：3 の画面で表示します。画面の左右に黒帯が表示されます。16：9 サイズの映像は横に圧縮されます。	（4：3）
フル	16：9 サイズの映像を画面全体に表示します。	（16：9）
ズーム	16：9 のレターボックスを画面全体に表示します。レターボックス以外は映像の上下が一部切れます。	（16：9 レターボックス）

(1) リモコンの 画面サイズ を押します。

画面サイズ を押すたびに、サイズが切り換わります。

［放送表示モード］

画面の表示率（P.54 参照）を切り換えることができます。

設定	状　態
標準	通常の表示（入力映像の上下左右の一部を切り取った状態）で画面を表示します。
フル	入力映像のほぼすべてを画面に表示します。

(1) 設定メニューの［画面調整］を選択し、決定 を押します。

(2)［画面調整］メニューで［放送表示モード］を選択し、決定 を押します。

［放送表示モード］設定画面が表示されます。

(3) ＜ または ＞ で設定を選択し、決定 を押します。

設定が完了します。

注意点

- 放送が 480i（4：3 の画面）以外の場合は、「16：9」の画面サイズに固定されます。

4 - 7　スルーモードのオン / オフを切り換える［スルーモード］

ゲーム映像表示時に、スルーモード（映像表示時の遅延を最小にしたモード）にする / しないの切り換えができます。

(1) リモコンの スルー を押します。

スルー を押すたびに、オン / オフが切り換わります。

注意点
- スルーモードの切り換えは、VIDEO/HDMI（ビデオ信号）入力でのみ有効です。
- ゲーム機から 1080p@24Hz/25Hz/30Hz の信号が入力されている場合は、「オフ」に固定されます。

4 - 8　ソフトウェアのダウンロード

本機の購入後も、機能の追加や改善をおこなうため、本機のソフトウェアをバージョンアップする場合があります。

本機はデジタル放送の電波を利用する自動ダウンロードに対応していますので、操作や設定をおこなうことなく、ソフトウェアをバージョンアップすることができます。

参 考
- 本機のソフトウェアのバージョンは、地デジ設定メニューの［各種情報表示］-［バージョン情報］で確認できます。

■ ダウンロードの実施

本機が自動でダウンロードの実施を判断します。

- アップデートが必要であることを判断した場合、

  ソフトウェアのアップデートが実施されます
  xxxx 年 xx 月 xx 日 xx 時 xx 分 の前後 30 分は待機状態にしてください

  というメッセージを表示します。
- 実施時刻の前後は、電源切（待機）状態（イルミネーション赤点灯）にしておいてください。また、故障の原因となりますので、電源プラグを抜かないでください。

■ ダウンロードの終了

ダウンロードが正常に終了すると、ダウンロード完了のお知らせが届きます。お知らせは、地デジ設定メニューの［各種情報表示］-［放送メール］で確認できます。

4 - 9　地上デジタル放送に関する情報を表示する

● ソフトウェアのバージョンを表示する［バージョン情報］

本機に関するソフトウェアのバージョン情報を確認できます。

(1) 地デジ設定メニューの［各種情報表示］を選択します。

(2)［各種情報表示］メニューで［バージョン情報］を選択し、決定 を押します。

バージョン情報が表示されます。

(3) 終了 を押します。

● 放送メールを表示する［放送メール］

放送局や本機からのお知らせや情報を確認できます。

(1) 地デジ設定メニューの［各種情報表示］を選択します。

(2)［各種情報表示］メニューで［放送メール］を選択し、決定 を押します。

放送メールの一覧が表示されます。

(3) 終了 を押します。

参 考
- 放送メールは最大 7 通まで保存されます。以降、古い順に自動的に消去されますので、定期的にご確認ください。
- 放送メールは手動で削除することはできません。

4 - 10　モニター情報を表示する［インフォメーション］

機種名、省電力の度合い、入力信号、音声デコードなどを表示します。

■ PC/VIDEO/HDMI 入力時

- 機種名、製造番号、使用時間、電力削減量、CO2 削減量、省エネレベル、入力信号、音声デコード、Virtual 5.1ch Surround

■ テレビ放送時

- 機種名、製造番号、使用時間、電力削減量、CO2 削減量、省エネレベル、音声デコード、Virtual 5.1ch Surround

(1) 設定メニューの［インフォメーション］を選択し、決定 を押します。
［インフォメーション］メニューが表示されます。

参 考

- インフォメーションはリモコンの i でも表示することができます。
- 工場での検査などのため、購入時に使用時間が「0」ではない場合があります。
- 画面の明るさ（ブライトネス）を抑えると、省電力の度合いが上がります。
- ［音声デコード］では現在の入力音声の状態を確認できます。
「PCM」：2ch LPCM 入力されている
「Dolby D」：Bit Stream（Dolby Digital）が入力され、Dolby Digital デコーダーが動作している
「Dolby PL II 」：Dolby Pro Logic II デコーダーが動作している
「ステレオ」：ステレオ音声が入力されている
「非対応音声」：本機の仕様に対応していない音声が入力されている
「ー」：入力音声なし
- ［Virtual 5.1ch Surround］は、ヘッドホン接続時のみ表示されます。

4 - 11　本体操作ボタンをロックする［操作ロック］

設定 / 調整した状態を変更できないように、本体操作ボタンでの設定 / 調整をロックします。

(1) 設定メニューの［本体設定］を選択し、決定 を押します。
(2)［本体設定］メニューで［操作ロック］を選択し、決定 を押します。
［操作ロック］設定画面が表示されます。
(3) ＜ または ＞ で「オン」を選択し、決定 を押します。
設定が完了します。

参 考

- ロックした状態でも次の操作は可能です。
  - 電源ボタンによる電源オン / オフ
- リモコンによる操作はロックされません。

4 - 12　EIZO ロゴの表示 / 非表示を切り換える［起動ロゴ］

本機の電源を入れた時に、EIZO ロゴが表示されます。このロゴの表示 / 非表示の切り換えができます。

(1) 設定メニューの［本体設定］を選択し、決定 を押します。
(2)［本体設定］メニューで［起動ロゴ］を選択し、決定 を押します。
［起動ロゴ］設定画面が表示されます。
(3) ＜ または ＞ で「オン」または「オフ」を選択し、決定 を押します。
設定が完了します。

4‑13　お買い上げ時の状態に戻す

カラー調整と本体設定、地デジ設定をそれぞれ初期状態（工場出荷状態）に戻すことができます。

注意点

• 設定実行後は、実行前の状態に戻すことはできません。

● カラー調整値をリセットする［カラーリセット］

現在選択しているカラーモードのカラー調整値をリセットします。

(1) 設定メニューの［カラー調整］を選択し、(決定) を押します。
(2)［カラー調整］メニューで［カラーリセット］を選択し、(決定) を押します。
(3) (<) または (>) で「はい」を選択し、(決定) を押します。
カラー調整値が初期状態になります。

● すべての設定内容をリセットする（地デジ設定メニューの設定を除く）［リセット］

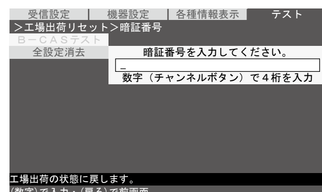
地デジ設定メニューの設定を除く、すべての設定内容を初期状態（工場出荷状態）に戻します。

(1) 設定メニューの［本体設定］を選択し、(決定) を押します。
(2)［本体設定］メニューで［リセット］を選択し、(決定) を押します。
(3) (<) または (>) で「はい」を選択し、(決定) を押します。
すべての設定内容が初期状態になります。

● 地デジ設定メニューの設定をリセットする［全設定消去］

デジタル放送の設定内容をリセットします。

(1) 地デジ設定メニューの［テスト］を選択します。
(2)［テスト］で［全設定消去］を選択し、(決定) を押します。
(3) [1] ～ [10] で暗証番号を入力します。



(4) (∧) または (∨) で［消去する］を選択し、(決定) を押します。
地デジ設定が初期状態になります。

参考

• 工場出荷時の暗証番号は「9999」です。暗証番号は変更することもできます（下記参照）。

■暗証番号を設定する［暗証番号］

数字４桁を暗証番号として設定します。暗証番号は、地上デジタル放送の設定内容を工場出荷状態に戻すときに必要になります。

(1) 地デジ設定メニューの［機器設定］を選択します。
(2)［機器設定］メニューで［暗証番号］を選択し、(決定) を押します。
(3) (∧) または (∨) で「更新する」を選択し、(決定) を押します。
暗証暗号入力画面が表示されます。
(4) 現在設定されている暗証番号（数字４桁）を数字ボタンで入力します。
(5) 新規に設定する暗証番号（数字４桁）を数字ボタンで入力します。
「暗証番号が変更されました。」と表示されます。

参考

• 入力した数字は「＊」で表示されます。

第 5 章　こんなときは

5 - 1　　こんなときは

症状に対する処置をおこなっても解消されない場合は、販売店またはエイゾーサポートにご相談ください。

- 画面が表示されない場合 →【PC/HDMI（PC 信号）入力の場合】項目 1
  【VIDEO/HDMI（ビデオ信号）入力の場合】項目 1
  【テレビ放送の場合】項目 1
- 画面に関する症状 →【共通】項目 1 ～ 6
  【PC/HDMI（PC 信号）入力の場合】項目 2 ～ 9
  【VIDEO/HDMI（ビデオ信号）入力の場合】項目 2 ～ 8
- その他の症状 →【共通】項目 7 ～ 12
  【PC/HDMI（PC 信号）入力の場合】項目 10 ～ 11
- HDMI CEC 機能に関する症状 →【VIDEO/HDMI（ビデオ信号）入力の場合】項目 9
- テレビ放送に関する症状 →【テレビ放送の場合】項目 2 ～ 9

【共通】

症　　状	原因と対処方法
1.　画面が明るすぎる / 暗すぎる	• ［カラー調整］メニューの［ブライトネス］、［コントラスト］を調整してみてください（P.38、39 参照）。（LCD モニターのバックライトには、寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたりするようになったら、エイゾーサポートにご相談ください。） • ［カラー調整］-［詳細設定］メニューの［Auto EcoView］を「標準」または「強」にしてみてください（P.40 参照）。周囲の明るさと表示映像の明るさに応じて、自動的に画面の明るさを調整します。
2.　残像があらわれる	• この現象は液晶パネルの特性であり、固定画面で長時間使用することを極力避けることをおすすめします。 • 長時間同じ画像を表示する場合は、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してください。
3.　画面に緑、赤、青、白のドットが残るまたは点灯しないドットが残る	• これらのドットが残るのは液晶パネルの特性であり、故障ではありません。
4.　画面上に干渉縞が見られる / パネルを押したあとが消えない	• 画面全体に白い画像または黒い画像を表示してみてください。症状が解消されることがあります。
5.　画面にノイズがあらわれる	• ［コントラスト拡張］、［輪郭補正］機能を利用している場合、表示パターンによっては画面の階調異常やノイズなど、正常な画面が表示されないことがあります。
6.　文字に色がつく	• ［輪郭補正］が強くかかっていると文字に色がつく場合があります。
7.　音が出ない / 音量が調節できない	• 音声ケーブルは正しく接続されていますか。 • ヘッドホンがヘッドホン端子に接続されていませんか。 • 音量を確認してみてください。 • ［サウンド設定］メニューの［出力選択］を確認してみてください（P.49 参照）。 • HDMI 入力時は［サウンド設定］メニューの［音源］の設定を確認してみてください（P.51 参照）。
8.　接続機器によって音量に差がある	• ［サウンド設定］メニューの［音声レベル］で接続機器間の音量差を軽減してみてください（P.50 参照）。

症　　状	原因と対処方法
9.　突然電源が切れた	• オフタイマー機能を使っていませんか。オフタイマーの設定を確認してみてください（P.52 参照）。 • ［PowerManager］メニューの電源オフ機能を設定していませんか？各設定を確認してみてください（P.51 参照）。
10. 選択できないメニュー項目がある	• 設定できるメニューの項目は入力（放送）ごとに異なります。設定メニュー項目一覧を確認してみてください（「設定メニュー項目一覧」P.71 参照）。
11. 本体の操作ボタンが効かない	• ［本体設定］メニューの［操作ロック］が「有効」になっていないか確認してみてください（P.58 参照）。
12. リモコンが効かない	• リモコン受光部に向けていますか。 • リモコン受光部との間に障害物がありませんか。 • 乾電池が消耗していませんか。 • 乾電池を入れる方向を間違っていませんか。

【PC/HDMI（PC 信号）入力の場合】

症　　状	原因と対処方法
1.　画面が表示されない • イルミネーションが点灯しない	• 電源コードは正しく差し込まれていますか。 • 主電源を切り、数分後にもう一度電源を入れてみてください。 • 主電源を入れてください。 • イルミネーションの設定（P.38 参照）を「オフ」にしている場合は、次の対処方法も確認してみてください。 - コンピュータは正しく接続されていますか。 - ［ブライトネス］、［コントラスト］、［ゲイン］の各調整値を上げてみてください（P.38、39、41 参照）。
• イルミネーションが点灯：赤色	• リモコンの 電源 を押すか、または本体操作ボタンの POWER ボタンを押してみてください。
• イルミネーションが点灯：橙色	• リモコンのいずれかのボタン（電源 を除く）または本体操作ボタン（POWER ボタンを除く）を押してみてください。 • マウス、キーボードを操作してみてください。 • コンピュータの電源を入れてみてください。 • 信号ケーブルは正しく接続されていますか。
• イルミネーションが点灯： 青 / 黄 / マゼンタ / 緑 / シアン	• コンピュータは正しく接続されていますか。 • ［ブライトネス］、［コントラスト］、［ゲイン］の各調整値を上げてみてください（P.38、39、41 参照）。
• 以下のようなメッセージが表示される 例： PC 信号エラー	• 入力されている信号が周波数仕様範囲外であることを示す表示です（現在の入力信号は、［インフォメーション］メニューで確認できます。範囲外の周波数はマゼンタ色で表示されます。）。 • コンピュータの設定が本機で表示できる解像度、垂直周波数になっていますか（P.69、70 参照）。 • コンピュータを再起動してみてください。 • グラフィックスボードのユーティリティなどで、適切な表示モードに変更してください。詳しくは、グラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。
2.　自動画面調整機能が動作しない	• 自動画面調整機能は以下の場合には動作しません。 - デジタル信号を入力している場合 - VGA など低解像度の信号の場合 - 入力信号が 720p/1080p の場合 • 一部のグラフィックスボードで正しく動作しない場合があります。

症　　状	原因と対処方法
3.　画像がずれている	・［画面調整］メニューの［ポジション］で調整してみてください（P.46 参照）。 ・ご使用のグラフィックスボードのユーティリティなどに画像の位置を変える機能があれば、その機能を使用して調整してください。
4.　画面に縦線が出ている / 画面の一部がちらついている	・［画面調整］メニューの［クロック］で調整してみてください（P.45 参照）。
5.　画面全体がちらつく、にじむように見える	・［画面調整］メニューの［フェーズ］で調整してみてください（P.46 参照）。
6.　画面の色がおかしい（HDMI（PC 信号）入力時）	・［画面調整］メニューの［カラースペース］で映像信号のカラースペース（色空間）を変更してみてください（通常は「自動」を選択してください。）。
7.　画面が点滅する（HDMI（PC 信号）入力時）	・HDMI ケーブルのカテゴリにより伝送できる信号が異なります。ケーブルが High Speed に対応しているか確認してください。
8.　画面にノイズがあらわれる	・アナログ信号の場合、［画面調整］メニューの［信号フィルタ］で設定を切り換えてみてください。入力している信号によっては、症状が改善されない場合があります。その場合には、デジタル信号入力でのご使用をおすすめします。 ・HDCP 方式の信号を入力した場合、正常な画面がすぐに表示されないことがあります。
9.　文字がにじむ	・静止画を表示している場合は、［画面調整］メニューの［倍速モード］の設定を確認してください。設定を「無効」にすると症状が解消することがあります（P.42 参照）。
10. モニターが省電力モードに移行しない（HDMI（PC 信号）入力時）	・［画面調整］メニューの［接続機器］が「PC」になっているか確認してください（P.48 参照）。
11. 音が出ない（HDMI（PC 信号）入力時）	・［サウンド設定］メニューの［音源］の設定が、音声ケーブルが接続されているコネクタになっているか確認してください（P.51 参照）。

【VIDEO/HDMI（ビデオ信号）入力の場合】

症　　状	原因と対処方法
1.　画面が表示されない ・イルミネーションが点灯しない	・電源コードは正しく差し込まれていますか。 ・主電源を切り、数分後にもう一度電源を入れてみてください。 ・主電源を入れてください。 ・イルミネーションの設定（P.38 参照）を「オフ」にしている場合は、次の対処方法も確認してみてください。 - 機器は正しく接続されていますか。 - 接続した機器の電源は入っていますか。 - ［ブライトネス］、［コントラスト］の各調整値を上げてみてください（P.38、39 参照）。
・イルミネーションが点灯：赤色	・リモコンの 電源 を押すか、または本体操作ボタンの POWER ボタンを押してみてください。

症　　状	原因と対処方法
• イルミネーションが点灯： 青 / 黄 / マゼンタ / 緑 / シアン	• 機器は正しく接続されていますか。 • 接続した機器の電源は入っていますか。 •［ブライトネス］、［コントラスト］の各調整値を上げてみてください（P.38、39 参照）。 •［インフォメーション］メニューの「入力信号」を確認してみてください。「信号エラー」と表示されている場合は、機器から入力されている信号が本機の仕様に対応していません。接続している機器の取扱説明書を参照し、信号の仕様を確認してください。
2.　ビデオ機器を接続した場合に、早送り / 早戻しをすると映像が乱れる	• 本機の機構上、多少乱れが出ることがあります。故障ではありません。
3.　画像がずれている	•［画面調整］メニューの［ポジション］で調整してみてください（P.47、48 参照）。 • ご使用のグラフィックスボードのユーティリティなどに画像の位置を変える機能があれば、その機能を使用して調整してください。
4.　画面に色にじみや色縞、点状のノイズが見える（VIDEO1（コンポジット信号）入力時）	• 入力信号のフォーマットが NTSC、PAL および PAL-60 の場合は、［画面調整］メニューの［3D YC 分離］で、設定が「有効」になっているか確認してください。 接続機器によっては、設定を「無効」にすると症状が解消することがあります。
5.　画面の表示がおかしい（VIDEO1（コンポジット信号）入力時）	•［画面調整］メニューの［カラーシステム］で入力信号のフォーマットを変更してみてください（通常は「自動」を選択してください。）。
6.　画面全体がちらつく、にじむように見える（VIDEO（コンポーネント信号）入力時）	•［画面調整］メニューの［フェーズ］で調整してみてください（P.47 参照）。
7.　画面の色がおかしい（HDMI（ビデオ信号）入力時）	•［画面調整］メニューの［カラースペース］で映像信号のカラースペース（色空間）を変更してみてください（通常は「自動」を選択してください。）。
8.　画面が点滅する（HDMI（ビデオ信号）入力時）	• HDMI ケーブルのカテゴリにより伝送できる信号が異なります。ケーブルが High Speed に対応しているか確認してください。
9.　接続した機器が正しく認識されない（HDMI CEC 機能使用時） •［機器一覧］に機器が表示されない • 接続機器の入力が違っている •「Error」と表示される	• 接続した機器は HDMI CEC に対応していますか。 • HDMI セレクタなどを介して、複数の機器を接続していませんか。本機は、HDMI セレクタを介しての接続には対応していません。 • 接続状態を変更していませんか。接続機器を追加したり、接続している入力を変更した場合は、機器の接続状態を変更する必要があります。接続機器の電源を入れた状態で、リンクメニューを表示し［機器一覧］画面で［機器を探す］を選択してください（P.33 参照）。 （「しばらくお待ちください。」というメッセージが表示されている間は本機および接続機器の電源を切らないでください。）

【テレビ放送の場合】

症　　状	原因と対処方法
1.　画面が表示されない	• 電源コードは正しく差し込まれていますか。 • 主電源を切り、数分後にもう一度電源を入れてみてください。 • 主電源を入れてください。 • リモコンの 電源 を押すか、または本体操作ボタンのPOWER ボタンを押してみてください。
2.　デジタル放送が映らない / 映りが悪い	• 電波の種類（地上デジタル）に適合したアンテナを使用していますか。 • アンテナをさえぎる障害物はありませんか。 • アンテナ線は外れていませんか。 • 地デジ設定メニューの［受信設定］-［受信レベル］で受信レベルを確認し、レベルの数値が小さい場合は、アンテナの方向調整をしてください（P.30 参照）。 • B-CAS カードは正しく挿入されていますか（P.25 参照）。 • デジタル放送の認証に失敗している可能性があります。B-CAS カードの抜き差し、または電源コードをいったんコンセントから抜き、再度接続してみてください。
3.　地上デジタル放送が受信できない / 地上デジタル放送の番組表などが表示されない / 本体の INPUT を押しても地上デジタル放送に変わらない	• 地デジ設定メニューの［受信設定］をおこないましたか（P.28 参照）。 • 地上デジタル放送がおこなわれているか、最寄りの放送局にお問い合わせください。
4.　番組表の内容が表示されない	• 地デジ設定メニューの［機器設定］-［番組表取得設定］を「取得しない」に設定していませんか。「取得しない」に設定していると、すべてのチャンネルの番組表が表示されない場合があります。
5.　映像や番組表が表示されるまでに時間がかかる	• 多少の時間がかかることがあります。特に、電源コードを抜き差ししたときは、しばらく時間がかかります。
6.　特定のチャンネルの映像や音声が出ない	• アンテナ線として適切なケーブルを使用していますか。 • 携帯電話など、本機の受信周波数帯域に相当する周波数を使用している機器の影響によって、映像や音声が出なくなる場合があります。デジタル放送に対応したケーブルなどを使用してください。
7.　引越しをしたら、地上デジタル放送が受信できなくなった	• 引越した場合は、地デジ設定メニューの［受信設定］-［チャンネル自動設定］をおこなってください（P.28 参照）。
8.　複数台のテレビで、数字ボタンのチャンネルが異なっている	• 地デジ設定メニューの［受信設定］-［チャンネル自動設定］などをおこなった時間が異なる場合は、同じにならない場合があります。本機を複数台お使いの場合は、［チャンネル自動設定］を同時におこなってください。 • 異なるテレビでは、同じにならない場合があります。
9.　受信できなくなった放送局が番組表表示などから消えない	• 地デジ設定メニューの［受信設定］-［チャンネル自動設定］をおこなってください（P.28 参照）。

5 - 2　メッセージ一覧

画面に表示される主なメッセージを説明します。

【全般】

メッセージ	内　　容
まもなく電源が切れます。	・［無操作電源オフ］/［無信号電源オフ］/ オフタイマー設定時、電源が切れる 1 分前に表示されます。
この操作はできません。	・リモコンで無効な操作をおこなった場合に表示されます。
本体設定の「HDMI CEC 機能」を［有効］にしてください。	・［本体設定］メニューの［HDMI CEC 機能］が「無効」になっているときに、リモコンの HDMI CEC ○ リンクメニュー を押した場合に表示されます。

【テレビ放送】

メッセージ	内　　容
このボタンはチャンネル登録されていません	・放送局が登録されていないリモコン番号を押したときに表示されます。「チャンネルスキップ」を設定したチャンネルボタンを押した場合もこのメッセージが表示されます。
このチャンネルは受信できません	・非放送番組を選局したときに表示されます。
受信レベルが低下しました。アンテナ線を確認してください	・受信レベルが低下し、受信できないときに表示されます。アンテナケーブルが正しく接続されていないときにも表示される場合があります。
このチャンネルは放送されていません	・選局したチャンネルが「休止中」だったときに表示されます。
B-CAS カードを確認してください	・B-CAS カードが認識されていないときに表示されます。
データ取得中です。しばらく待って操作してください	・受信状態などにより、番組情報が取得できなかった場合に表示されます。
チャンネル設定を行ってください	・地上デジタル放送の受信設定（P.28）をおこなっていないときや、［全設定消去］をおこなったときに表示されます。
緊急放送が始まりました。（決定）ボタンで切り換えます	・緊急放送が始まったときに表示されます。決定ボタンを押すと、緊急放送を実施しているチャンネルに切り換わります。
受信できないチャンネルがあれば、チャンネル設定を行ってください	・お使いの地域において、チャンネル周波数変更などが実施されるときに表示されます。
ソフトウェアのアップデートが実施されます xxxx 年 xx 月 xx 日 xx 時 xx 分の前後 30 分は待機状態にしてください	・ソフトウェアのダウンロードが必要と判断した場合に表示します。実施時刻の前後は、電源を切り（待機状態（イルミネーション赤点灯））、電源プラグを抜かないでください。

第 6 章　ご参考に

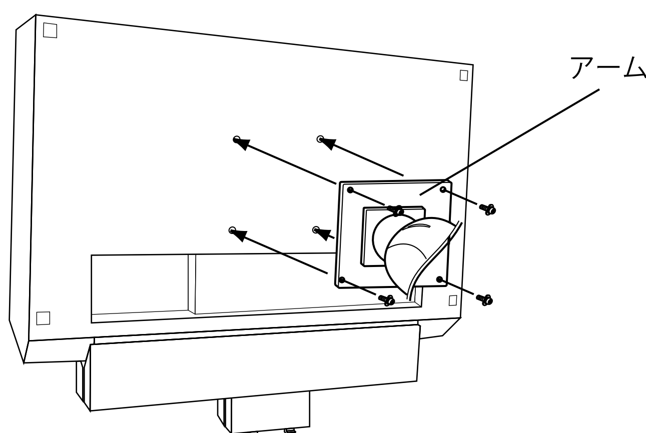
6 - 1　オプションアーム取付方法

スタンドベースを取り外して、オプションアーム（またはオプションスタンド）を取り付けます。対応しているオプションアーム（またはオプションスタンド）については、当社のホームページをご覧ください。
http://www.eizo.co.jp

1 **液晶パネル面が傷つかないよう、安定した場所に柔らかい布などを敷いた上に、パネル面を下に向けて置きます。**

2 **スタンドベースを取り外します。**
スタンドベースを固定しているネジを回して取り外します。

3 **モニターをアームまたはスタンドに取り付けます。**
アームまたはスタンドの取扱説明書で指定のネジを使って取り付けます。



注意点

- 取り付けの際は、アームまたはスタンドの取扱説明書の指示に従ってください。
- 他社製のアームまたはスタンドを使用する場合は、以下の点をアームまたはスタンドメーカーにご確認の上、VESA 規格準拠のものをお選びください。取付には本機に付属している M4 × 12mm ネジをご使用ください。
  - 取付部のネジ穴間隔：100mm × 100mm
  - プレート部の厚み：2.6mm
  - 許容質量：モニター本体の質量（スタンドなし）とケーブルなどの装着物の総質量に耐えられること
- 保護パネル（オプション品）と併用する場合は、ケーブルなどを含めた総重量が許容質量を超えないようにしてください。
- アームまたはスタンドを使用する場合は、以下の範囲（チルト角）で使用してください。
  - 上 45°　下 45°
- モニターを縦方向に回転させないでください。
- ケーブル類は、アームまたはスタンドを取り付けた後に接続してください。

6 - 2　地上デジタル放送の放送一覧

地上デジタル放送のチャンネル設定をおこなうと、放送の運用規格に基づいて、地上デジタル放送の受信可能なチャンネルをリモコンの数字ボタン（1～12）に自動設定します。この表では、その際に地域内のどの放送局がそのボタンに設定されるかを記載しています。

チャンネルボタン	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
都道府県	受信チャンネル 放　送　局　名											
北海道（札幌）	011 HBC 札幌	021 NHK 教育 ・札幌	031 NHK 総合 ・札幌		051 STV 札幌	061 HTB 札幌	071 TVH 札幌	081 UHB 札幌				
北海道（函館）	011 HBC 函館	021 NHK 教育 ・函館	031 NHK 総合 ・函館		051 STV 函館	061 HTB 函館	071 TVH 函館	081 UHB 函館				
北海道（旭川）	011 HBC 旭川	021 NHK 教育 ・旭川	031 NHK 総合 ・旭川		051 STV 旭川	061 HTB 旭川	071 TVH 旭川	081 UHB 旭川				
北海道（帯広）	011 HBC 帯広	021 NHK 教育 ・帯広	031 NHK 総合 ・帯広		051 STV 帯広	061 HTB 帯広	071 TVH 帯広	081 UHB 帯広				
北海道（釧路）	011 HBC 釧路	021 NHK 教育 ・釧路	031 NHK 総合 ・釧路		051 STV 釧路	061 HTB 釧路	071 TVH 釧路	081 UHB 釧路				
北海道（北見）	011 HBC 北見	021 NHK 教育 ・北見	031 NHK 総合 ・北見		051 STV 北見	061 HTB 北見	071 TVH 北見	081 UHB 北見				
北海道（室蘭）	011 HBC 室蘭	021 NHK 教育 ・室蘭	031 NHK 総合 ・室蘭		051 STV 室蘭	061 HTB 室蘭	071 TVH 室蘭	081 UHB 室蘭				
青森	011 RAB 青森放送	021 NHK 教育 ・青森	031 NHK 総合 ・青森		051 青森 朝日放送	061 ATV 青森テレビ						
岩手	011 NHK 総合 ・盛岡※1	021 NHK 教育 ・盛岡※1		041 テレビ 岩手	051 岩手朝日 テレビ	061 IBC テレビ		081 めんこい テレビ				
宮城	011 TBC テレビ	021 NHK 教育 ・仙台	031 NHK 総合 ・仙台	041 ミヤギ テレビ	051 KHB 東日本放送			081 仙台放送				
秋田	011 NHK 総合 ・秋田	021 NHK 教育 ・秋田		041 ABS 秋田放送	051 AAB 秋田 朝日放送			081 AKT 秋田テレビ				
山形	011 NHK 総合 ・山形	021 NHK 教育 ・山形		041 YBC 山形放送	051 YTS 山形テレビ	061 テレビュー 山形		081 さくらんぼ テレビ				
福島	011 NHK 総合 ・福島※1	021 NHK 教育 ・福島※1		041 福島中央 テレビ	051 KFB 福島放送	061 テレビュー 福島		081 福島 テレビ				
茨城	011 NHK 総合 ・水戸※1	021 NHK 教育・東京		041 日本 テレビ	051 テレビ 朝日	061 TBS	071 テレビ 東京	081 フジ テレビジョン				121 放送大学
栃木	011 NHK 総合 ・東京	021 NHK 教育 ・東京	031 とちぎ テレビ	041 日本 テレビ	051 テレビ 朝日	061 TBS	071 テレビ 東京	081 フジ テレビジョン				121 放送大学
群馬	011 NHK 総合 ・東京	021 NHK 教育 ・東京	031 群馬 テレビ	041 日本 テレビ	051 テレビ 朝日	061 TBS	071 テレビ 東京	081 フジ テレビジョン				121 放送大学
埼玉	011 NHK 総合 ・東京	021 NHK 教育 ・東京	031 テレビ埼玉	041 日本 テレビ	051 テレビ 朝日	061 TBS	071 テレビ 東京	081 フジ テレビジョン				121 放送大学
千葉	011 NHK 総合 ・東京	021 NHK 教育 ・東京	031 チバ テレビ	041 日本 テレビ	051 テレビ 朝日	061 TBS	071 テレビ 東京	081 フジ テレビジョン				121 放送大学
東京	011 NHK 総合 ・東京	021 NHK 教育 ・東京		041 日本 テレビ	051 テレビ 朝日	061 TBS	071 テレビ 東京	081 フジ テレビジョン	091 東京 MX テレビ			121 放送大学
神奈川	011 NHK 総合 ・東京	021 NHK 教育 ・東京	031 tvk	041 日本 テレビ	051 テレビ 朝日	061 TBS	071 テレビ 東京	081 フジ テレビジョン				121 放送大学
新潟	011 NHK 総合 ・新潟	021 NHK 教育 ・新潟		041 TeNY テレビ新潟	051 新潟 テレビ 21	061 BSN		081 NST				
富山	011 KNB 北日本放送	021 NHK 教育 ・富山※1	031 NHK 総合 ・富山※1			061 チューリップ テレビ		081 BBT 富山テレビ				
石川	011 NHK 総合 ・金沢※1	021 NHK 教育 ・金沢※1		041 テレビ 金沢	051 北陸 朝日放送	061 MRO		081 石川 テレビ				
福井	011 NHK 総合 ・福井※1	021 NHK 教育 ・福井※1					071 FBC テレビ	081 福井 テレビ				
山梨	011 NHK 総合 ・甲府※1	021 NHK 教育 ・甲府※1		041 YBS 山梨放送		061 UTY						
長野	011 NHK 総合 ・長野	021 NHK 教育 ・長野		041 テレビ 信州	051 abn 長野 朝日放送	061 SBC 信越放送		081 NBS 長野放送				
岐阜	011 東海 テレビ	021 NHK 教育 ・名古屋	031 NHK 総合 ・岐阜※1	041 中京 テレビ	051 CBC	061 メ～テレ		081 岐阜 テレビ				
愛知	011 東海 テレビ	021 NHK 教育 ・名古屋	031 NHK 総合 ・名古屋	041 中京 テレビ	051 CBC	061 メ～テレ				101 テレビ 愛知		
三重	011 東海 テレビ	021 NHK 教育 ・名古屋	031 NHK 総合 ・津※1	041 中京 テレビ	051 CBC	061 メ～テレ	071 三重 テレビ					
静岡	011 NHK 総合 ・静岡	021 NHK 教育 ・静岡		041 静岡第一 テレビ	051 静岡朝日 テレビ	061 SBS		081 テレビ 静岡				
滋賀	011 NHK 総合 ・大津※1	021 NHK 教育 ・大阪	031 BBC びわ湖放送	041 MBS 毎日放送		061 ABC テレビ		081 関西 テレビ		101 よみうり テレビ		

次ページにつづく>>

チャンネルボタン	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
京都	011 NHK 総合 ・京都※1	021 NHK 教育 ・大阪		041 MBS 毎日放送	051 KBS 京都	061 ABC テレビ		081 関西 テレビ		101 よみうり テレビ		
大阪	011 NHK 総合 ・大阪	021 NHK 教育 ・大阪		041 MBS 毎日放送		061 ABC テレビ	071 テレビ 大阪	081 関西 テレビ		101 よみうり テレビ		
兵庫	011 NHK 総合 ・神戸※1	021 NHK 教育 ・大阪	031 サン テレビ	041 MBS 毎日放送		061 ABC テレビ		081 関西 テレビ		101 よみうり テレビ		
奈良	011 NHK 総合 ・奈良※1	021 NHK 教育 ・大阪		041 MBS 毎日放送		061 ABC テレビ		081 関西 テレビ	091 奈良 テレビ	101 よみうり テレビ		
和歌山	011 NHK 総合 ・和歌山※1	021 NHK 教育 ・大阪		041 MBS 毎日放送	051 テレビ 和歌山	061 ABC テレビ		081 関西 テレビ		101 よみうり テレビ		
鳥取	011 日本海 テレビ	021 NHK 教育 ・鳥取※1	031 NHK 総合 ・鳥取※1			061 BSS テレビ		081 山陰中央 テレビ				
島根	011 日本海 テレビ	021 NHK 教育 ・松江※1	031 NHK 総合 ・松江※1			061 BSS テレビ		081 山陰中央 テレビ				
岡山	011 NHK 総合 ・岡山※1	021 NHK 教育 ・岡山※1		041 RNC 西日本テレビ	051 KSB 瀬戸内海放送	061 RSK テレビ	071 テレビ せとうち	081 OHK テレビ				
香川	011 NHK 総合 ・高松※1	021 NHK 教育 ・高松※1		041 RNC 西日本テレビ	051 KSB 瀬戸内海放送	061 RSK テレビ	071 テレビ せとうち	081 OHK テレビ				
広島	011 NHK 総合 ・広島	021 NHK 教育 ・広島	031 RCC テレビ	041 広島 テレビ	051 広島 ホームテレビ			081 TSS				
山口	011 NHK 総合 ・山口※1	021 NHK 教育 ・山口※1	031 TYS テレビ山口	041 KRY 山口放送	051 YAB 山口朝日							
徳島	011 四国放送	021 NHK 教育 ・徳島※1	031 NHK 総合 ・徳島※1									
愛媛	011 NHK 総合 ・松山	021 NHK 教育 ・松山		041 南海放送	051 愛媛朝日	061 あい テレビ		081 テレビ 愛媛				
高知	011 NHK 総合 ・高知	021 NHK 教育 ・高知		041 高知放送		061 テレビ 高知		081 さんさん テレビ				
福岡	011 KBC 九州 朝日放送	021 NHK 教育 ・福岡※2 NHK 教育 ・北九州※2	031 NHK 総合 ・福岡※2 NHK 総合 ・北九州※2	041 RKB 毎日放送	051 FBS 福岡放送		071 TVQ 九州放送	081 TNC テレビ西日本				
佐賀	011 NHK 総合 ・佐賀※1	021 NHK 教育 ・佐賀※1	031 STS サガテレビ									
長崎	011 NHK 総合 ・長崎※1	021 NHK 教育 ・長崎※1	031 NBC 長崎放送	041 NIB 長崎 国際テレビ	051 NCC 長崎 文化放送			081 KTN テレビ長崎				
熊本	011 NHK 総合 ・熊本※1	021 NHK 教育 ・熊本※1	031 RKK 熊本放送	041 KKT くまもと県民	051 KAB 熊本 朝日放送			081 TKU テレビ熊本				
大分	011 NHK 総合 ・大分※1	021 NHK 教育 ・大分※1	031 OBS 大分放送	041 TOS テレビ大分	051 OAB 大分 朝日放送							
宮崎	011 NHK 総合 ・宮崎※1	021 NHK 教育 ・宮崎※1	031 UMK テレビ宮崎			061 MRT 宮崎放送						
鹿児島	011 MBC 南日本放送	021 NHK 教育 ・鹿児島※1	031 NHK 総合 ・鹿児島※1	041 KYT 鹿児島 読売 TV	051 KKB 鹿児島放送			081 KTS 鹿児島テレビ				
沖縄	011 NHK 総合 ・那覇	021 NHK 教育 ・那覇	031 RBC テレビ		051 QAB 琉球 朝日放送			081 沖縄テレビ （OTV）				

※1 ［チャンネル自動設定］で受信できなかった場合は、受信できた地域外の NHK 放送を数字ボタンに設定します。
（設定される放送は、地域によって決められています。）
その後「※1」の放送が受信できると、新しい放送に設定を変更します。これは、放送の運用規定によるものです。

※2 入力レベルの高い方の放送をダイレクト選局ボタンに設定します。
これは、放送の運用規定によるものです。

※3 3 桁チャンネル番号は、放送地域内では、それぞれ放送局ごとに異なった番号が割り当てられています。隣接する他の地域の放送局が受信できる場合で同じ 3 桁チャンネル番号の放送局が複数受信できる場合は、他の地域の放送局が、リモコンのチャンネル（数字）ボタンの空き番号に割り当てられます。

6-3　仕様

パネル	液晶パネル			58cm（23.0）型カラー TFT、アンチグレア、ハードコーティング 視野角：上下 160°、左右 160°　CR ≧ 10
	ドットピッチ			0.2655mm
	解像度			1920 ドット× 1080 ライン
	最大表示色			約 1677 万色：6bit Hi-FRC 対応（10 億 6433 万色中 /10bit-LUT）
	表示サイズ			509.8mm（水平）× 286.7mm（垂直）
電源				AC100V ± 10%、50/60Hz、0.75A
消費電力	画面表示時			75W 以下（スピーカー動作時）
	電源オフ時			0.8W 以下（スタンバイ時） 7W 以下（ダウンロード中や番組情報を受信している時など）
	主電源オフ時			0W
	年間消費電力量※1			区分名※2：DD、受信機型サイズ：23V 型 **98kWh/ 年**（カラーモード：カスタム※3 時）
PC 入力	（PC1）	映像（デジタル）	入力端子	DVI-D（HDCP 対応）× 1
			水平走査周波数	31.5 ～ 67.5kHz
			垂直走査周波数	59 ～ 61Hz - VGA TEXT 時は 67 ～ 71Hz - 720p/1080p@50Hz※4 時は 49 ～ 51Hz - 1080p@24Hz※4 時は 23.5 ～ 24.5Hz - 1080p@25Hz※4 時は 24.5 ～ 25.5Hz - 1080p@30Hz※4 時は 29 ～ 31Hz
			ドットクロック（最大）	148.5MHz
			信号伝送方式	TMDS（Single Link）
		音声	入力端子	Φ 3.5 ステレオミニジャック× 1
	（PC2）	映像（アナログ）	入力端子	D-Sub15 ピン（ミニ）× 1
			水平走査周波数	31 ～ 80kHz：各プリセット信号± 1kHz
			垂直走査周波数	56 ～ 76Hz：各プリセット信号± 1Hz - 720p/1080p@50Hz※4 時は 49 ～ 51Hz
			ドットクロック（最大）	148.5MHz
			入力同期信号	セパレート、TTL、正 / 負極性
			入力映像信号	アナログ、正極性（0.7Vp-p/75 Ω）
			信号メモリー	47 種（プリセット 33 種）
			プラグ＆プレイ機能	VESA DDC 2B
		音声	入力端子	Φ 3.5 ステレオミニジャック× 1

※1 省エネルギー法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。
※2 区分名：省エネルギー法によるテレビに使用される画素数、受信機型サイズ、動画表示、付加機能などに基づいた区分の名称です。
※3 工場出荷状態です。
※4 マイクロソフト社製 Xbox 360 など、一部の AV 機器用途

VIDEO 入力	（VIDEO1）	映像（コンポジット）	入力端子	ピンジャック× 1
			対応フォーマット	NTSC、PAL、PAL-60
			信号入力レベル	Y：1.0Vp-p/75 Ω
		映像（コンポーネント）	入力端子	D 端子× 1
			対応フォーマット	- 525i（480i）/525p（480p）：60Hz - 625i（576i）/625p（576p）：50Hz - 1125i（1080i）/750p（720p）：50Hz/60Hz - 1125p（1080p）：24Hz/50Hz/60Hz
			信号入力レベル	Y：1.0Vp-p/75 Ω、Cb,Cr：0.7Vp-p/75 Ω
		音声	入力端子	ピンジャック（L、R）× 1 （コンポーネント / コンポジット共有）
VIDEO 入力	（VIDEO2）	映像（コンポーネント）	入力端子	D 端子× 1
			対応フォーマット	- 525i（480i）/525p（480p）：60Hz - 625i（576i）/625p（576p）：50Hz - 1125i（1080i）/750p（720p）：50Hz/60Hz - 1125p（1080p）：24Hz/50Hz/60Hz
			信号入力レベル	Y：1.0Vp-p/75 Ω、Cb,Cr：0.7Vp-p/75 Ω
		音声	入力端子	ピンジャック（L、R）× 1
HDMI 入力※5	（HDMI1/ HDMI2）	映像 / 音声	入力端子	HDMI TypeA × 2
			対応フォーマット	・PC 信号 - 水平走査周波数 / 垂直走査周波数：PC1 同様 - ドットクロック（最大）：PC1 同様 ・ビデオ信号 - 525i（480i）/525p（480p）：60Hz - 625i（576i）/625p（576p）：50Hz - 1125i（1080i）/750p（720p）：50Hz/60Hz - 1125p（1080p）：24Hz/25Hz/30Hz/50Hz/60Hz ・音声信号 - 2ch リニア PCM（32kHz/44.1kHz/48kHz） - Dolby Digital
アンテナ入力	地上デジタル		入力端子	75 Ω F 型コネクタ× 1
			受信チャンネル	地上 D000 ～地上 D999（CATV パススルー対応）
音声出力	スピーカー出力		2W ＋ 2W	
	ラインアウト端子		Φ 3.5 ステレオミニジャック× 1	
	ヘッドホン出力端子		Φ 3.5 ステレオミニジャック× 1	
寸法	本体		547mm（幅）× 445mm（高さ）× 275mm（奥行き）	
	本体（スタンドなし）		547mm（幅）× 441mm（高さ）× 70mm（奥行き）	
質量	本体		約 9.1kg	
	本体（スタンドなし）		約 8.0kg	
可動範囲			チルト角度：上 20°下 5°	
環境条件	温度		動作温度範囲：0℃～ 35℃ 輸送および保存温度範囲：-20℃～ 60℃	
	湿度		動作湿度範囲：20% ～ 80% R.H.（非結露状態） 輸送および保存湿度範囲：10% ～ 80% R.H.（非結露状態）	
	気圧		動作気圧範囲：700hPa. ～ 1060hPa. 輸送および保存気圧範囲：200hPa. ～ 1060hPa.	

※5 本機はカラースペース（色空間）の xvYCC 規格には対応していません。

設定メニュー項目一覧

項目			PC1	PC2	HDMI1/2（PC 信号）	VIDEO1	VIDEO2	HDMI1/2（ビデオ信号）	テレビ放送
カラー調整	カラーモード イルミネーション		○	○	○	○	○	○	○
	ブライトネス		○	○	○	○	○	○	○
	黒レベル（R）/（G）/（B）		○	○	○	—	—	—	—
	黒レベル		—	—	—	○	○	○	○
	コントラスト		○	○	○	○	○	○	○
	色の濃さ		○	○	○	○	○	○	○
	色合い		○	○	○	○	○	○	○
	色温度		○	○	○	○	○	○	○
	詳細設定	Auto EcoView	○	○	○	○	○	○	○
		コントラスト拡張	○	○	○	○	○	○	○
		輪郭補正	○	○	○	○	○	○	○
		ガンマ	○	○	○	○	○	○	○
		リラックスモード	○	○	○	○	○	○	○
		ゲイン	○	○	○	—	—	—	—
		RGB バランス	—	—	—	○	○	○	○
		ノイズフィルタ	—	—	—	○	○	○	○
		I/P 変換	—	—	—	○	○	○	○
		倍速モード切換 スムーズ再生	○	○	○	○	○	○	○
		カラーリセット	○	○	○	○	○	○	○
	カラーリセット		○	○	○	○	○	○	○
画面調整	接続機器		—	—	○	—	—	○	—
	カラースペース		—	—	○	—	—	○	—
	画面サイズ自動切換		—	—	—	○	○	○	—
	3D YC 分離		—	—	—	○※1	—	—	—
	カラーシステム		—	—	—	○※1	—	—	—
	倍速モード		○	○	○	—	—	—	—
	自動画面調整		—	○	—	—	—	—	—
	自動レンジ調整		—	○	—	—	—	—	—
	クロック		—	○	—	—	—	—	—
	フェーズ		—	○	—	○※2	○	—	—
	ポジション		—	○	—	○	○	○	—
	信号フィルタ		—	○	—	—	—	—	—
	放送表示モード		—	—	—	—	—	—	○
サウンド設定	出力選択		○	○	○	○	○	○	○
	スピーカー調整	バランス	○	○	○	○	○	○	○
		高音	○	○	○	○	○	○	○
		低音	○	○	○	○	○	○	○
	ヘッドホン調整	バランス	○	○	○	○	○	○	○
		高音	○	○	○	○	○	○	○
		低音	○	○	○	○	○	○	○
		Virtual 5.1ch Surround	○	○	○	○	○	○	○
	音声レベル		○	○	○	○	○	○	—
	音源		—	—	○	—	—	○	—
PowerManager	無操作電源オフ		○	○	○	○	○	○	○
	無信号電源オフ		—	—	—	○	○	○	○
	パワーセーブ（PC）		○	○	○	—	—	—	—
本体設定	HDMI CEC 機能		○	○	○	○	○	○	○
	電源オン連動		○	○	○	○	○	○	○
	電源オフ連動		○	○	○	○	○	○	○
	イルミネーション輝度		○	○	○	○	○	○	○
	操作ロック		○	○	○	○	○	○	○
	起動ロゴ		○	○	○	○	○	○	○
	倍速デモ		○	○	○	○	○	○	○
	リセット		○	○	○	○	○	○	○
インフォメーション			○	○	○	○	○	○	○

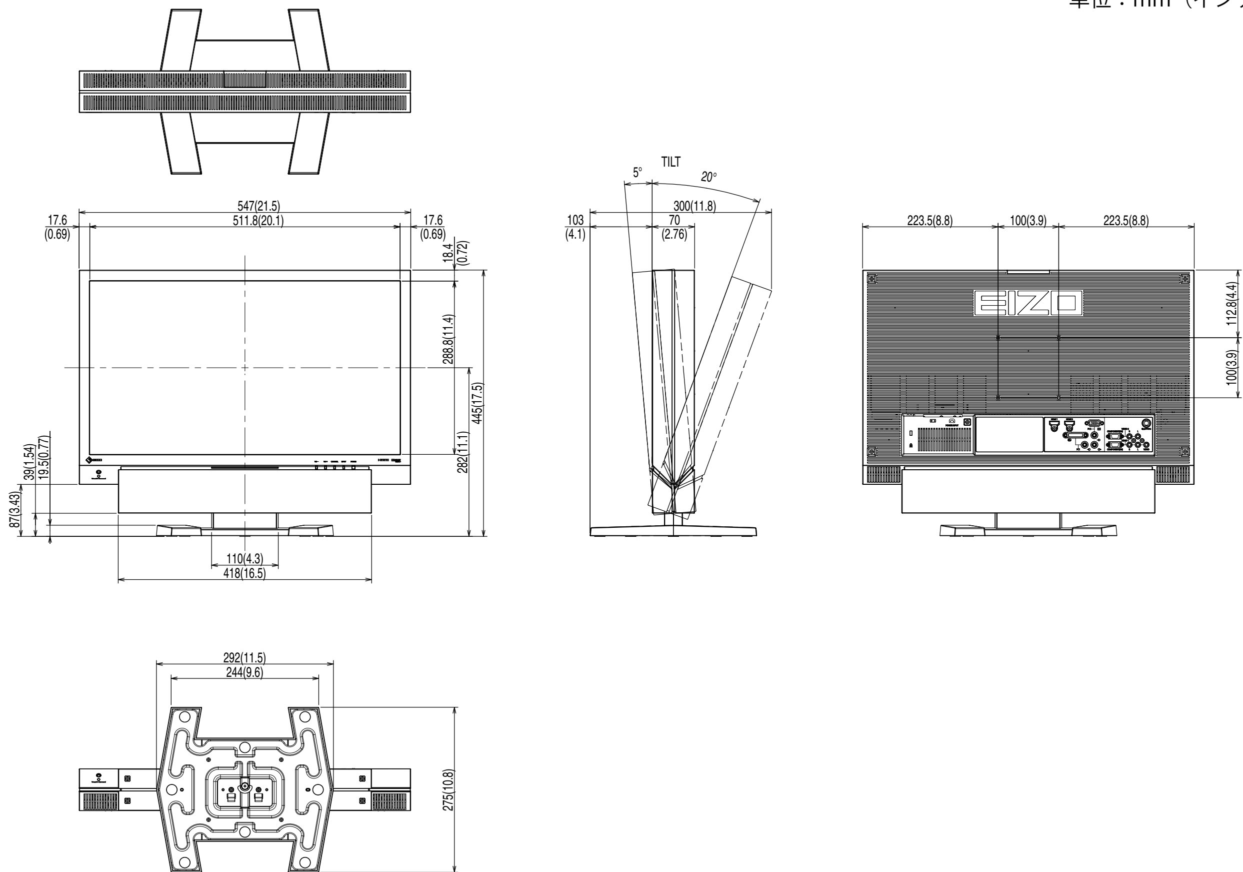
※1 コンポジット入力時のみ
※2 コンポーネント（D 端子）入力時のみ

デジタルメニュー項目一覧

第 1 階層	第 2 階層	第 3 階層	第 4 階層
受信設定	地域設定	北海道	都府県または支庁
		東北	
		関東	
		信越 / 北陸	
		中部 / 東海	
		近畿	
		中国 / 四国	
		九州 / 沖縄	
	チャンネル自動設定		
	チャンネル追加設定		
	リモコン設定		
	チャンネルスキップ		
	受信レベル		
機器設定	暗証番号		
	字幕・文字スーパー	字幕	
		文字スーパー	
	音声切換		
	番組表取得設定		
各種情報表示	B-CAS 情報		
	バージョン情報		
	放送メール		
テスト	B-CAS テスト		
	全設定消去		

外観寸法

単位：mm（インチ）



別売オプション品

クリーニングキット	EIZO「ScreenCleaner」
スピーカーカバー	EIZO「Sound Jacket」
保護パネル	EIZO「FP-2301W」

オプション品に関する最新情報は、当社のホームページをご覧ください。

http://www.eizo.co.jp

6 - 4　用語集

色温度

白色の色合いを数値的に表したものを色温度といい、K：ケルビン（Kelvin）で表します。炎の温度と同様に、画面は温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。
5000K：やや赤みがかった白色
6500K：暖色で紙色に近い白色
9300K：やや青みがかった白色

カラーシステム

ビデオ信号の信号方式のことです。本機は、NTSC、PAL、PAL-60 に対応しています。

カラースペース

色を規定し、表現するための方法。輝度（Y) と赤の色差（U)、青の色差（V) により表現する YUV、赤（R)、緑（G)、青（B) の 3 色の階調により表現する RGB などがあります。

解像度

液晶パネルは決められた大きさの画素を敷き詰めて、その画素を光らせて画像を表示させています。本機種の場合は横 1920 個、縦 1080 個の画素がそれぞれ敷き詰められています。このため 1920 × 1080 の解像度であれば、画像は画面いっぱい（1 対 1）に表示されます。

ガンマ

一般に、モニターは入力信号のレベルに対して非直線的に輝度が変化していきます。これをガンマ特性と呼んでいます。画面はガンマ値が低いとコントラストが弱く、ガンマ値が高いとコントラストが強くなります。

クロック

アナログ入力方式のモニターにおいて、アナログ入力信号をデジタル信号に変換して画像を表示する際に、使用しているグラフィックスボードのドットクロックと同じ周波数のクロックを再生する必要があります。このクロックの値を調整することをクロック調整といい、クロックの値が正常でない場合は画面上に縦縞が現れます。

ゲイン

赤、緑、青それぞれの色の値を調整するものです。液晶モニターではパネルのカラーフィルターに光を通して色を表示しています。赤、緑、青は光の 3 原色であり、画面上に表示されるすべての色は 3 色の組み合わせによって構成されます。3 色のフィルターに通す光の強さ（量）をそれぞれ調整することによって、色調を変化させることができます。

コントラスト拡張

映像に合わせてバックライトの明るさとゲインレベルを制御するとともに、ガンマ値を補正し、コントラスト感のある画像を実現する機能です。

フェーズ

アナログ入力信号をデジタル信号に変換する際のサンプリングタイミングのことです。このタイミングを調整することをフェーズ調整といいます。クロックを正しく調整した後でフェーズ調整をおこなうことをおすすめします。

輪郭補正

画像を構成するピクセル間の色の差を強調することにより、画像の輪郭を強調するとともに質感・素材感を向上させる機能です。逆に輪郭をぼかして画像をなめらかに見せることもできます。

レンジ調整

信号の出力レベルを調整し、すべての色階調を表示できるように調整します。カラー調整をおこなう前にはレンジ調整をおこなうことをおすすめします。

DVI（Digital Visual Interface）

デジタルインターフェース規格の一つです。コンピュータ内部のデジタルデータを損失なくダイレクトに伝送できます。

伝送方式に TMDS、コネクタに DVI コネクタを採用しています。デジタル入力のみ対応の DVI-D コネクタと、デジタル / アナログ入力可能な DVI-I コネクタがあります。

DVI DMPM（DVI Digital Monitor Power Management）

デジタルインターフェースの省電力機能のことです。モニターのパワー状態については Monitor ON（オペレーションモード）と Active Off（省電力モード）が必須となっています。

HDCP（High-bandwidth Digital Contents Protection）

映像や音楽などのデジタルコンテンツの保護を目的に開発された、信号の暗号化方式。

DVI 端子を経由して送信されるデジタルコンテンツを出力側で暗号化し入力側で復号化することによりコンテンツを安全に伝送できます。

出力側と入力側の双方の機器が HDCP 対応していないと、コンテンツを再生できない仕組みになっています。

HDMI（High-Definition Multimedia Interface）

HDMI とは、コンピュータとモニターを接続するときのインターフェース規格のひとつである「DVI」をベースにして、家電や AV 機器向けに発展させたデジタルインターフェース規格です。映像や音声、制御信号を圧縮することなく、1 本のケーブルで伝送することができます。

HDMI CEC（Consumer Electronics Control）

CEC とは、HDMI で規定されている機器間制御に関する規格です。CEC に対応した機器を HDMI ケーブルで接続すると、機器間の連動操作が可能になります。

I/P（Interlace Progressive）変換

画面の走査処理を I（インターレス）から P（プログレッシブ＝ノンインターレス）に変換する技術です。DVD などデジタル処理されたビデオ信号で、ちらつきを軽減するなど、より高品質な画面を表示するために用いられます。

VESA DPMS（Video Electronics Standards Association - Display Power Management Signaling）

VESA では、コンピュータ用モニターの省エネルギー化を実現するため、コンピュータ（グラフィックスボード）側からの信号の標準化をおこなっています。DPMS はコンピュータとモニター間の信号の状態について定義しています。

6 - 5　プリセットタイミング

工場出荷時に設定されているビデオタイミングは以下のとおりです（アナログ信号のみ）。

表示モード	ドットクロック		周波数 水平：kHz 垂直：Hz	極　性
NEC PC-9821 640 × 400@70Hz	25.2MHz	水平	31.48	負
		垂直	70.10	負
VGA 640 × 480@60Hz	25.2MHz	水平	31.47	負
		垂直	59.94	負
VGA 720 × 400@70Hz	28.3MHz	水平	31.47	負
		垂直	70.09	正
Macintosh 640 × 480@67Hz	30.2MHz	水平	35.00	負
		垂直	66.67	負
Macintosh 832 × 624@75Hz	57.3MHz	水平	49.72	負
		垂直	74.55	負
Macintosh 1152 × 870@75Hz	100.0MHz	水平	68.68	負
		垂直	75.06	負
Macintosh 1280 × 960@75Hz	126.2MHz	水平	74.76	正
		垂直	74.76	正
VESA 640 × 480@73Hz	31.5MHz	水平	37.86	負
		垂直	72.81	負
VESA 640 × 480@75Hz	31.5MHz	水平	37.50	負
		垂直	75.00	負
VESA 720 × 480@60Hz	28.3MHz	水平	31.47	負
		垂直	59.94	負
VESA 800 × 600@56Hz	36.0MHz	水平	35.16	正
		垂直	56.25	正
VESA 800 × 600@60Hz	40.0MHz	水平	37.88	正
		垂直	60.32	正
VESA 800 × 600@72Hz	50.0MHz	水平	48.08	正
		垂直	72.19	正
VESA 800 × 600@75Hz	49.5MHz	水平	46.88	正
		垂直	75.00	正
VESA 848 × 480@60Hz	33.8MHz	水平	31.02	正
		垂直	60.00	正
VESA 1024 × 768@60Hz	65.0MHz	水平	48.36	負
		垂直	60.00	負
VESA 1024 × 768@70Hz	75.0MHz	水平	56.48	負
		垂直	70.07	負
VESA 1024 × 768@75Hz	78.8MHz	水平	60.02	正
		垂直	75.03	正
VESA 1152 × 864@75Hz	108.0MHz	水平	67.50	正
		垂直	75.00	正
VESA CVT 1280 × 768@60Hz	79.5MHz	水平	47.78	負
		垂直	59.87	正
VESA CVT 1280 × 768@75Hz	102.3MHz	水平	60.29	負
		垂直	74.89	正
VESA CVT RB 1280 × 768@60Hz	68.3MHz	水平	47.40	正
		垂直	60.00	負
VESA 1280 × 960@60Hz	108.0MHz	水平	60.00	正
		垂直	60.00	正
VESA 1280 × 1024@60Hz	108.0MHz	水平	63.98	正
		垂直	60.02	正
VESA 1280 × 1024@75Hz	135.0MHz	水平	79.98	正
		垂直	75.03	正
VESA 1360 × 768@60Hz	85.5MHz	水平	47.71	正
		垂直	60.02	正
VESA CVT 1680 × 1050@60Hz	146.3MHz	水平	65.29	負
		垂直	59.95	正

注意点

- 接続されるコンピュータの種類により表示位置などがずれ、設定メニューで画面の調整が必要になる場合があります。
- 一覧表に記載されている以外の信号を入力した場合は、設定メニューで画面の調整をおこなってください。ただし、調整をおこなっても画面を正しく表示できない場合があります。
- インターレースの信号は、設定メニューで調整をおこなっても画面を正しく表示することができません。

表示モード	ドットクロック		周波数 水平：kHz 垂直：Hz	極　性
VESA CVT RB 1680 × 1050 @60Hz	119.0MHz	水平	64.67	正
		垂直	59.88	負
720p@50Hz 1280 × 720p	74.3MHz	水平	37.50	正
		垂直	50.00	正
720p@60Hz 1280 × 720p	74.3MHz	水平	45.00	正
		垂直	59.94	正
1080p@50Hz 1920 × 1080p	148.5MHz	水平	56.25	正
		垂直	50.00	正
1080p@60Hz 1920 × 1080p	148.5MHz	水平	67.50	正
		垂直	59.94	正
VESA CVT RB 1280 × 720@60Hz	64.0MHz	水平	44.44	正
		垂直	59.98	負
VESA CVT 1280 × 720 @60Hz	74.5MHz	水平	44.47	負
		垂直	59.86	正
VESA CVT RB 1920 × 1080@60Hz	138.5MHz	水平	66.59	正
		垂直	59.93	負

第 7 章　アフターサービス

本製品のサポートに関してご不明な場合は、エイゾーサポートにお問い合わせください。エイゾーサポート一覧は次ページに記載してあります。

保証書について

- この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げの販売店でお渡ししますので、所定事項の記入、販売店の捺印の有無、および記載内容をご確認ください。なお、保証書は再発行致しませんので、大切に保管してください。
- 当社では、この製品の補修用部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製品の製造終了後、最低 7 年間保有しています。補修用部品の最低保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、エイゾーサポートにご相談ください。

修理を依頼されるとき

- 保証期間中の場合
  保証書の規定にしたがい、エイゾーサポートにて修理をさせていただきます。お買い求めの販売店、またはエイゾーサポートにご連絡ください。
- 保証期間を過ぎている場合
  お買い求めの販売店、またはエイゾーサポートにご相談ください。修理範囲（サービス内容）、修理費用の目安、修理期間、修理手続きなどを説明いたします。

修理を依頼される場合にお知らせいただきたい内容

- お名前・ご連絡先の住所・電話番号 /FAX 番号
- お買い上げ年月日・販売店名
- モデル名・製造番号（製造番号は、本体の背面部のラベル上および保証書に表示されている 8 けたの番号です。例）S/N 12345678）
- 使用環境（コンピュータ / グラフィックスボード /OS・システムのバージョン / 表示解像度など）
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）

修理について

- 修理の際に当社の品質基準に適合した再生部品を使用することがありますのであらかじめご了承ください。

廃棄時にご注意願います！

家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのテレビを廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引渡すことが求められています。

製品に関するお問い合わせ

EIZO コンタクトセンターでは、製品のお取り扱いや機能説明、ご購入に関するお問い合わせ、ご相談を受け付けております。

EIZOコンタクトセンター　　0120-956-812
受付時間：月～金　9：30 ～ 17：30（祝日、当社休業日を除く）

故障/修理に関するお問い合わせ

製品の不具合、修理に関しては、最寄りの下記エイゾーサポートにお問い合わせください。
修理を依頼される際は、「第 5 章　こんなときは」を今一度ご覧いただき、故障かどうかご確認ください。
それでも解消されない場合は故障症状を具体的にご連絡ください。
＊営業時間　月曜日～金曜日 9：30 ～ 17：30（祝日、当社休業日を除く）

名称／所在地	電話番号	FAX 番号
エイゾーサポート仙台 〒 980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町 4-6-1 仙台第一生命タワービルディング 2F	022-212-8750	022-212-8758
エイゾーサポート東京 〒 143-0006 東京都大田区平和島 6-1-1 東京流通センター 物流ビルＢ棟 4F BW4-1	03-5767-7726	03-5767-7727
エイゾーサポート名古屋 〒 460-0003 愛知県名古屋市中区錦 1-6-5 名古屋錦シティビル	052-232-0151	052-232-7705
エイゾーサポート北陸 〒 926-8566 石川県七尾市藤橋町ア部 8-2	0767-52-7700	0767-52-0202
エイゾーサポート大阪 〒 532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原 3 丁目 5-24 新大阪第一生命ビル	06-6398-6522	06-6398-6525
エイゾーサポート広島 〒 730-0013 広島県広島市中区八丁堀 14 番 4 号 広島八丁堀第一生命ビルディング 5 階	082-535-6770	082-535-7702
エイゾーサポート福岡 〒 810-0004 福岡県福岡市中央区渡辺通 3-6-11 福岡フコク生命ビル	092-762-2170	092-715-7781

所在地、電話番号などは変更になることがありますのでご了承ください。
最新のお問い合せ先については、エイゾーサポートのホームページを参照してください。
http://www.eizo-support.co.jp

長年ご使用の機器の点検を！	長期ご使用になりますと、内部のほこりなどの堆積によって故障する場合があります。	愛情点検

このような症状はありませんか？	● 電源を入れても映像や音が出ない ● 映像が時々消える ● 変なにおいがしたり、煙が出たりする ● 製品内部に水や異物が入った ● 電源を切っても映像や音が消えない	ご使用中止	すぐに電源プラグを抜き、故障や事故の防止のため、必ず販売店またはエイゾーサポートに点検をご相談ください。



株式会社ナナオ

〒924-8566　石川県白山市下柏野町 153 番地

http://www.eizo.co.jp

第 2 版　2010 年 9 月

00N0L600B1

(U.M-FX2301TV)